



唐土名勝圖會
卷之貳

ル 5
3457
2



門 九 5
號 3457
卷 2



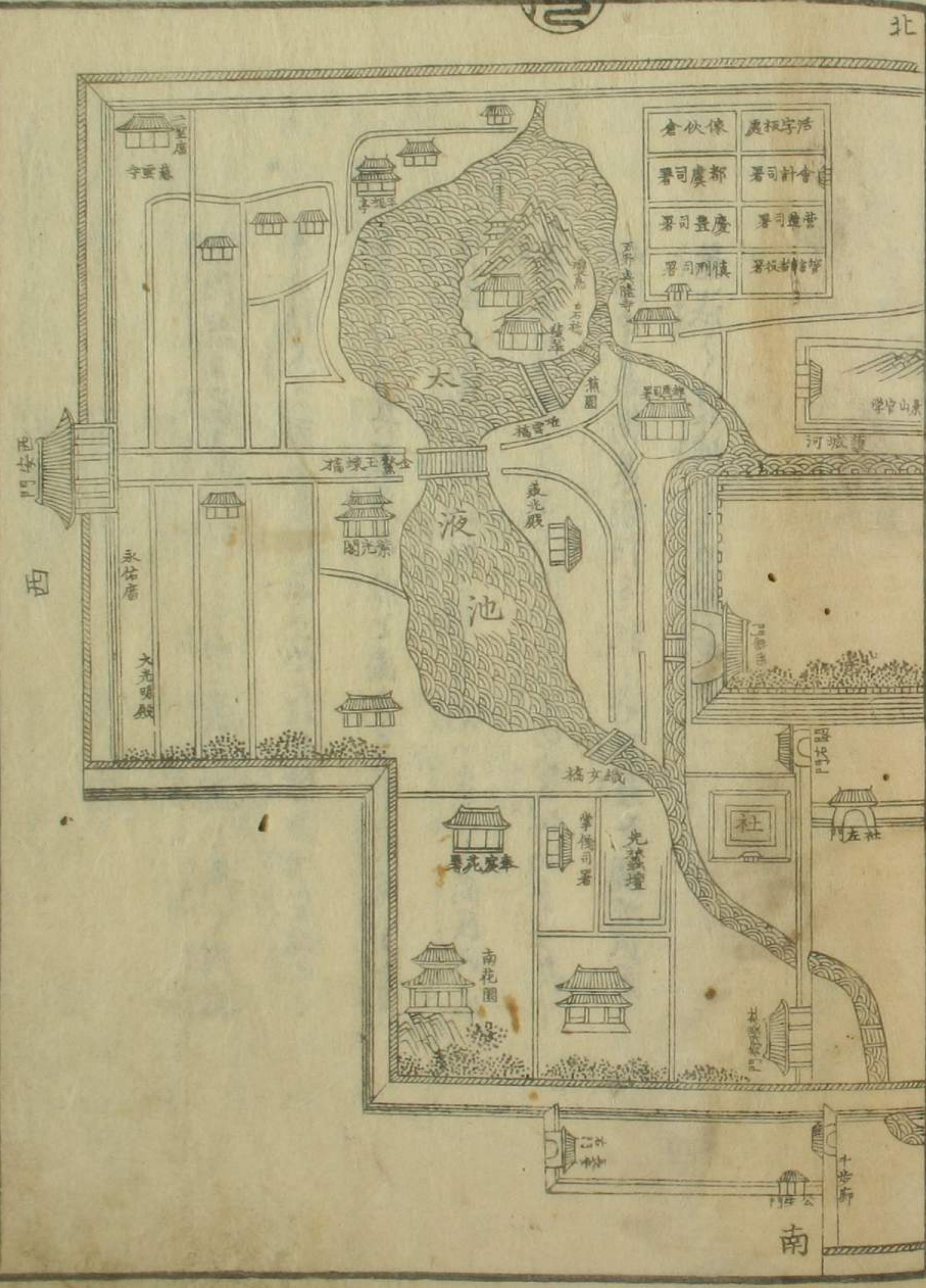
城

會 圖 卷 三

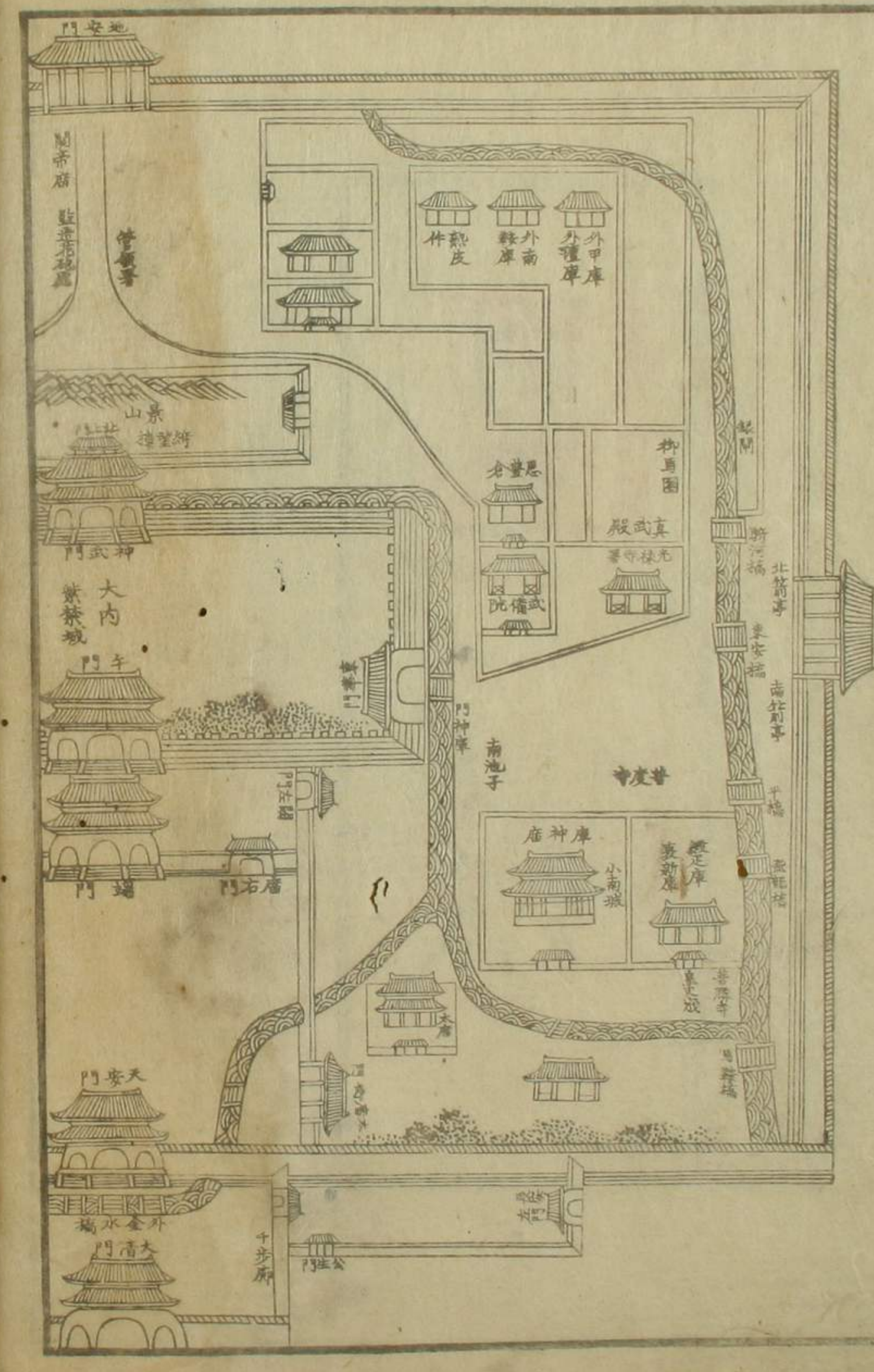
京 師

美 藏

卷 之 一



皇城總圖



大内既云卷二記をみて爰に圖と省く内城
 其後卷二圖を載けたるはこれと除き唯皇城の
 をあつせり其殿屋の形と圖とりのに皆奇器なり
 大街小街火巷胡同と稱する者悉く商民の家
 居連続きつらまらして尺寸の空地何れも
 此國中某街某胡同を記して民屋を圖せし見る
 者誤く空地とせらるる勿と

唐土名勝圖會卷之二目錄

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| 皇城 | 大清門 | 千步廊 | 長安龍門 |
| 長安右門 | 天安門 | 太廟街門 | 社稷街門 |
| 端門 | 中書科直房 | 六科給事中直房 | 太廟 |
| 社稷壇 | 皇史宬 | 緞足庫庫神廟 | 飛龍橋 |
| 普度寺 | 馬鞍橋 | 南苑亭 | 平橋 |
| 東安門 | 東安橋 | 光福寺署 | 南池子 |
| 鞍作作 | 外養約處 | 門神庫 | 武備院署 |
| 恩豐倉 | 劉羅斯文館 | 宣仁廟 | 凝和廟 |
| 國帝廟 | 騎河橋 | 小築亭 | 真武殿 |
| 御馬園 | 馬神廟 | 一等忠勇公身 | 嵩祝寺 |
| 法淵寺 | 智珠寺 | 吉安所 | 鐘鼓寺 |
| 五聖祠 | 興隆寺 | 華嚴寺 | 朱彝尊賜宅 |
| 三旗統領官領署 | 監造花炮處 | 景山官學 | 景山 |

稽察內務府衙門 白石橋

慎刑司署 慶豐司署

武英殿活字板處 管轄番役署

福佑寺 昭顯廟

掌內管領國防署 都虞司署

掌儀司署 真武廟

奉宸苑署 西苑

蕉園萬善殿 人字柳

瓊華島 永安寺

闡福寺 織染局

真武殿 蠶池

琉璃作 永佑廟

巧機營 壽明殿

二聖廟 慈雲寺

護城河

會計司署

萬壽興隆寺

官三倉

管理三旗納浪莊署

南花園

大液池

金鰲玉煉橋

先蠶壇

延壽巷

蔡外元宅地

大光明殿

火藥局

元都勝境

大高玄殿

營造司署

靜默寺

傢伙倉

王絳巷

瀛臺

養光殿

五龍亭

經板庫

天主堂

高士奇宅地

西安門

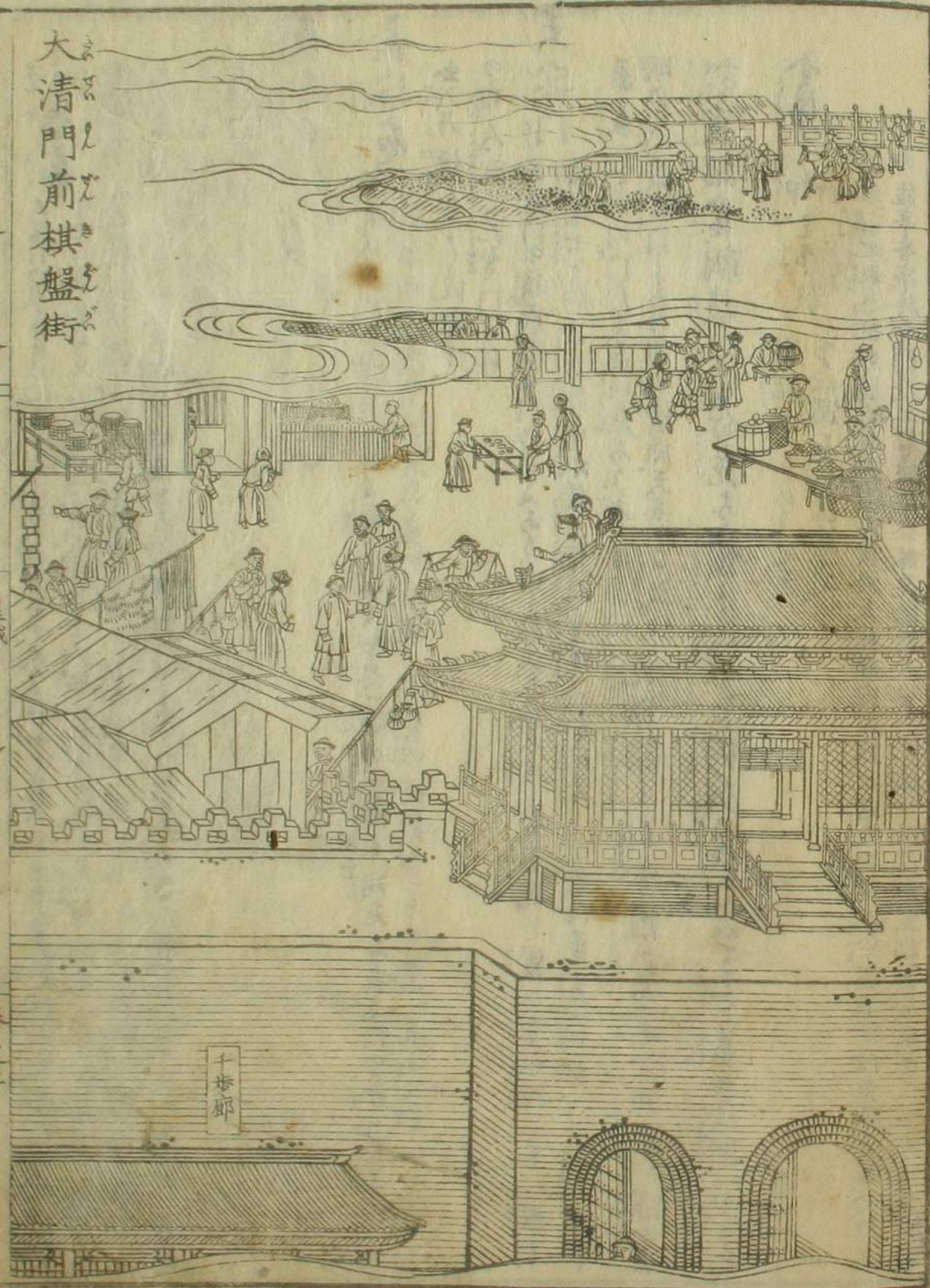
弘仁寺

虎城

教軍場

池安門

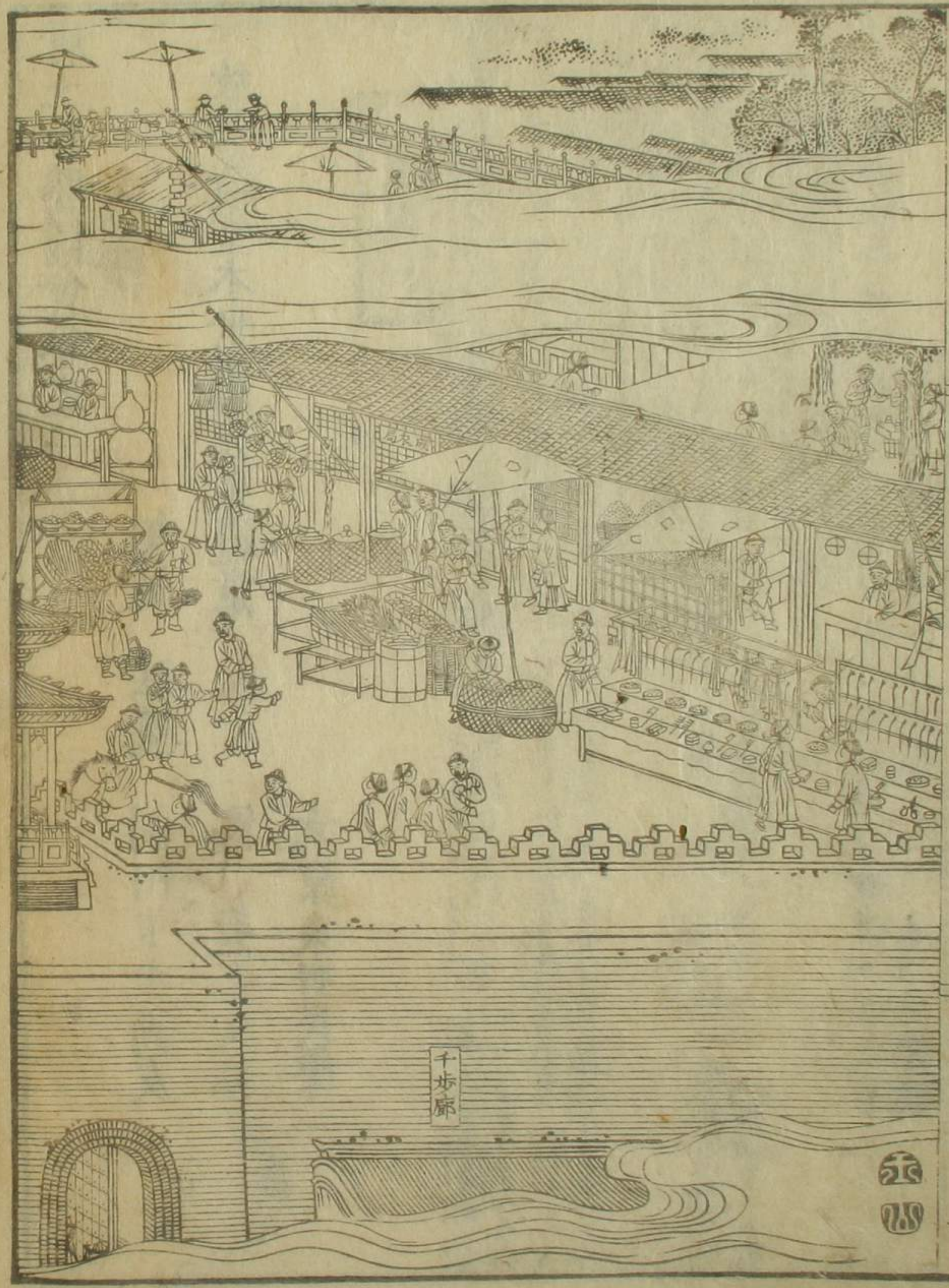
大清門前棋盤街



皇城

卷之二

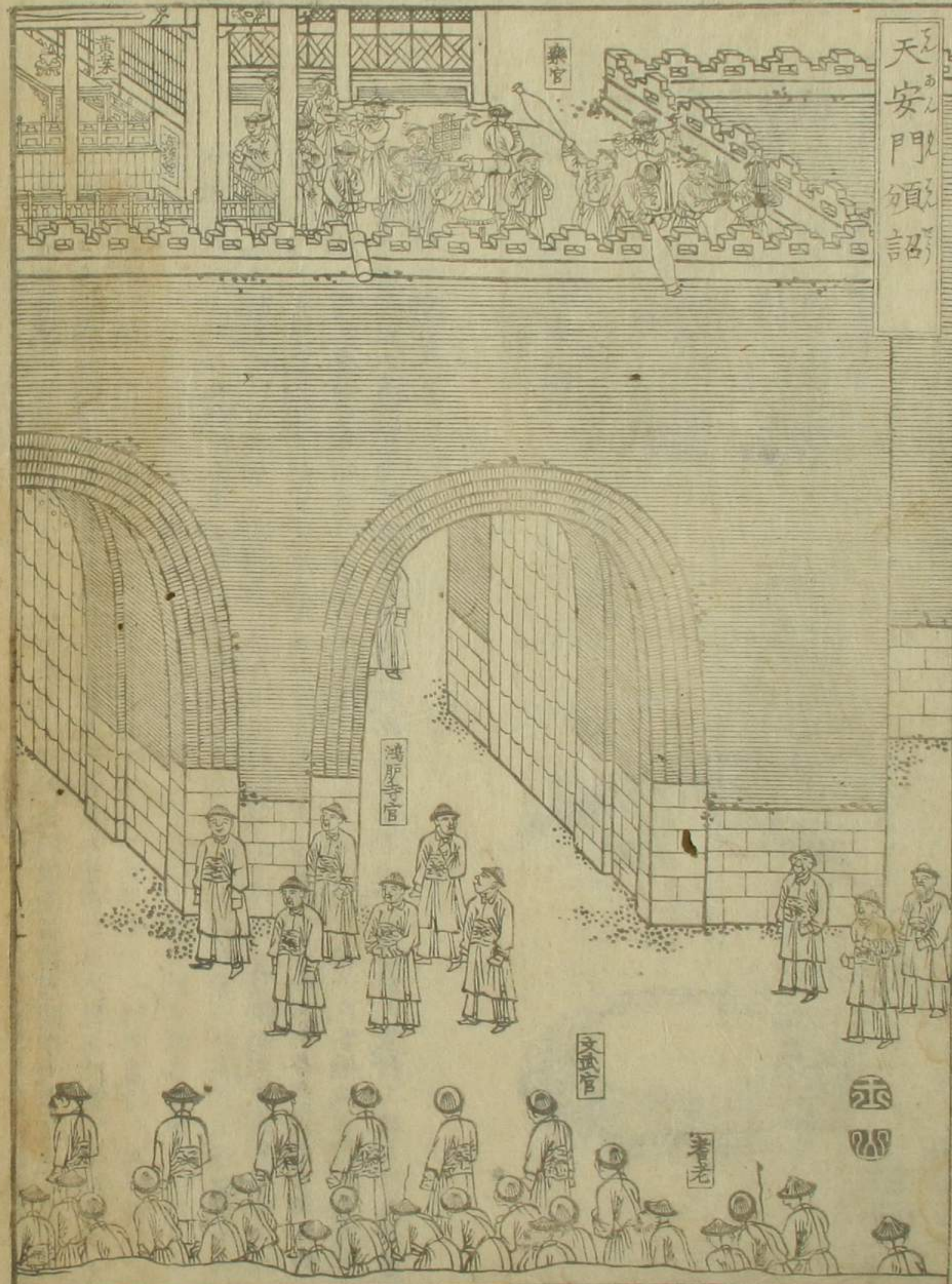
十步廊



十步廊

六

天安門領詔



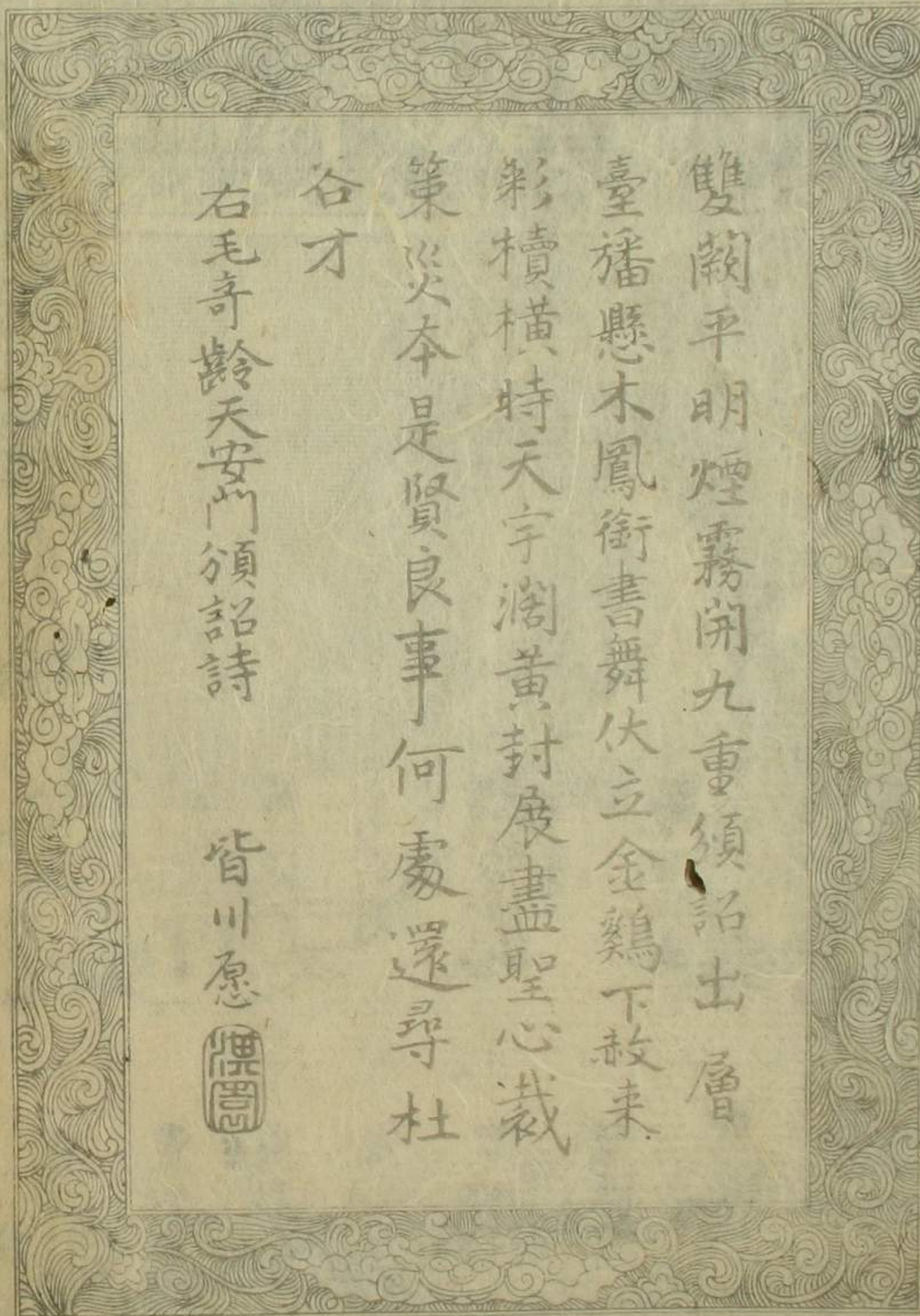
東宮夫安門



京師


東掖

卷之二



雙闕平明煙霧開九重須詔出層
臺幡懸木鳳銜書舞伏立金鷄下放未
彩櫺橫特天宇濶黃封展盡聖心裁
策災本是賢良事何處還尋杜
谷才

右毛奇齡天安門頌詔詩

皆川愿 

○右廟街門 天安門の内東
廡の正中より

○社稷街門 天安門の内西
廡の正中より

端門 天安門の後より門の制天安門と曰し門内東西の兩廡各三間其北の東は廟右門あり西は
社稷門あり東より西に十二間の兩廡あり都院寺府監等の諸官朝房あり其廡北の
東より西に廟右門と西より東に廟左門あり門の外の東西兩廡各三間諸王公朝集の處あり

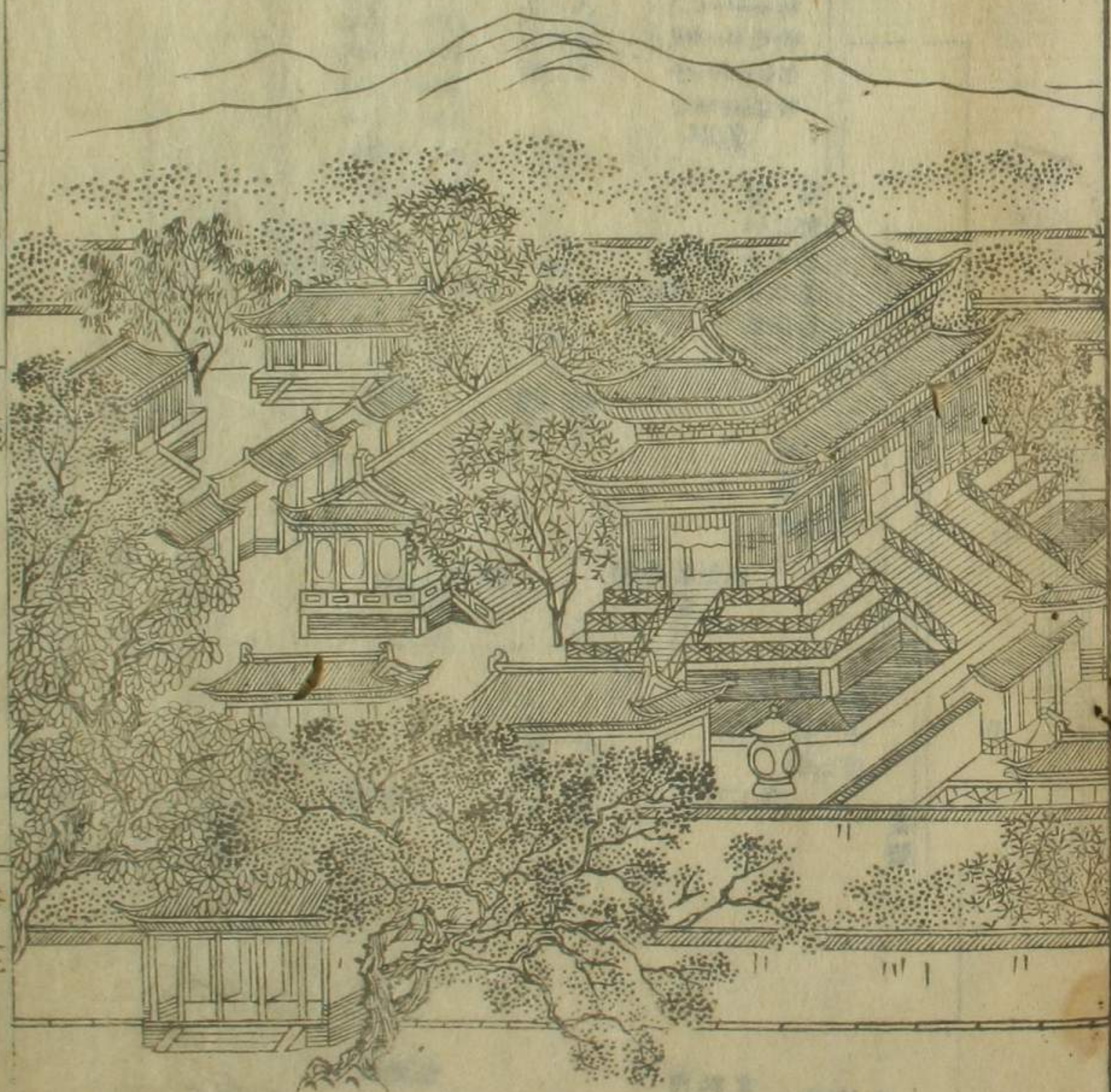
中書科直房 午門の外西廡
乃の西あり ○六科給事中直房 午門の外西廡より西に三科あり
西の外の刑工の三科あり

雍正二年始りて六科をなして都察院に隸し 文移の北に都察院あり都察院の碑あり

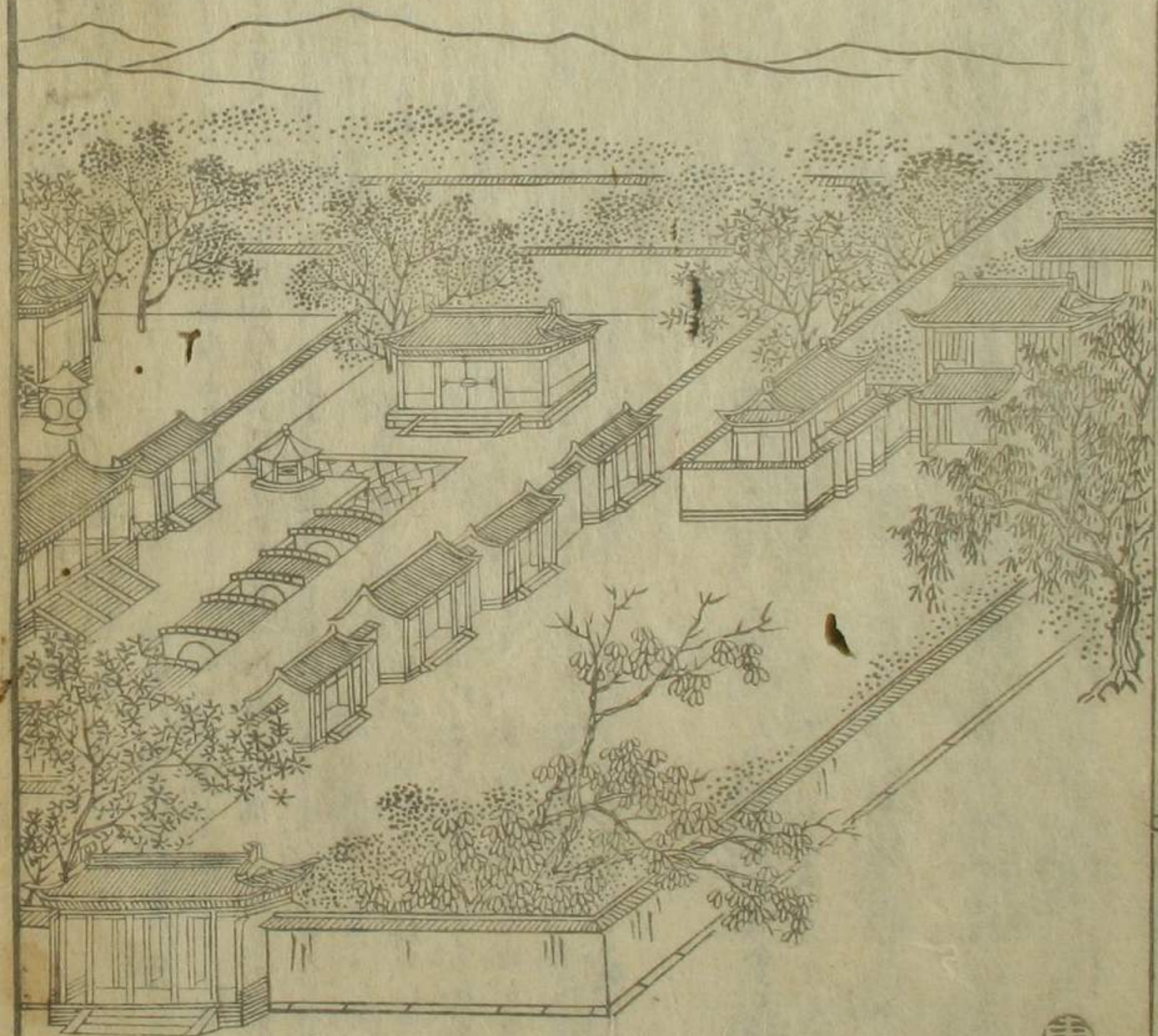
太廟 廟右門の東あり南より北に廟右門丹墀あり其北の東は廟右門あり西は
廟左門あり門の外の東西兩廡各三間其北の東は廟右門あり西は廟左門あり

先殿 廟右門の外東西の兩廡各三間其北の東は廟右門あり西は廟左門あり

列祖暨列聖列后の祔位と若殿と棊 是と合せ祀せ給ふ又時御食
の中殿の祔位を此に奉じて祀廟の至り其多ありに與り



太廟



皇朝

午門外金輦於太和門階下日出前四刻太常卿詣乾清門告時皇帝御祭服乘禮輿出宮內大臣侍衛
前引後扈如常儀至太和門階下降輿乘輦駕登警蹕午門殿鼓法駕鹵簿前導不陪祀王以下文武各
官咸朝服跪送導迎鼓吹設而不作皇帝由太廟街門左門入至外垣南門外神路右降輦贊引大常
一人恭導皇帝由太廟南門左門入至戟門內次公一人率覺羅官詣神位安奉殿中宝座王一人率宗
室官詣中殿上香行禮恭詣神位安奉前殿宝座畢太常卿奏請行禮皇帝出極次盥洗贊引太常卿恭
導皇帝由戟門左門入陞左階入前殿左門就拜位前北嚮立太常贊禮郎引分獻官至階前夾甬通
鴻臚官引陪祀王公位殿外階上陪祀百官位階下左右序立均北面典儀官贊樂舞生登歌執事官各
共通職武舞八佾進贊引官奏就位皇帝就拜位立迺迎神司香官各奉香盤進司樂官贊樂迎神樂奏
貽平之章贊引官奏詣香案前恭導皇帝詣太祖高皇帝香案前司香官跪進香贊引官奏跪皇帝跪奏
上香皇帝上炷香次三上辦香與以次詣列聖香案前上香儀同奏復位皇帝復位奏跪拜興皇帝行三
跪九拜禮王公百官均隨行禮莫昂爵初獻禮宗室司昂官奉籥司爵官奉爵各詣列聖列后神位前
奏致平之章舞干戚之舞司昂官跪莫昂三叩司爵官立獻爵莫正中皆退而無分獻官上香執事生莫
昂獻爵各如儀司祝至祝案前跪三叩奉祝版跪案左樂暫止皇帝跪群臣皆跪司祝讀祝畢奉祝版詣
太祖神位前跪安於案三叩退樂作皇帝率群臣行三拜禮興樂止武功之舞退文舞八佾進行亞獻禮
奏致平之章舞羽籥之舞司爵官獻爵莫於左儀如初獻行終獻禮奏紹平之章司爵官獻爵莫於右儀
如亞獻兩廡畢獻儀如初樂止文德之舞退太常官贊賜福胙光祿卿二人就東案奉福胙進至太祖位
前拱手降立於皇帝拜位之右侍衛二人進立於左皇帝跪左右執事官咸跪右官進福酒皇帝受爵拱
舉授左官進胙受胙亦如之三拜興率群臣行三跪九拜禮徹饌奏光平之章徹饌畢太常官跪告禮成
於神三叩退舉還官樂奏入平之章皇帝率群臣行三跪九拜禮有司奉祝次昂次香恭送燎所皇帝轉
立拜位旁西嚮候祝昂過復位樂作祝昂燎半奏禮成恭導皇帝由戟門左門出先是於皇帝入戟門極
次時太常贊禮郎二人引後殿承祭官至殿垣門右東面立埃皇帝入戟門贊引官引後殿承祭官入右
門升自右階至殿外中階拜位前北面立典儀官贊禮率官各共迺迎贊引官贊就位引承祭官就拜位

立司香官奉香盤進贊引官贊詣香案前引承祭官入後右門入詣香案前司香官跪奉香贊引官贊跪
承祭官跪贊上香承祭官上炷香次三上辦香與以次詣各香案前上香儀同贊復位引承祭官出殿右
門復位贊跪叩與承祭官行三跪九叩禮莫昂爵行初獻禮司爵官率群臣跪詣案前跪莫昂三叩司爵
官奉爵立獻莫正中皆退司祝至祝案前跪三叩奉祝版跪案左承祭官跪司祝讀祝畢奉祝版詣正中
神位前跪安於案叩如初退承祭官行三叩禮次亞獻司爵官獻爵莫於左次終獻司爵官獻爵莫於右
均如初獻儀承祭官行三跪九叩禮有司奉祝次昂次香恭送燎所承祭官轉立西旁東面候過復位祝
昂燎半告禮成引承祭官仍降自西階由戟門右門出至公二人率宗室覺羅官恭詣前殿神位還御中
殿寢室後殿神位還御後殿寢室上香行禮如前儀皇帝至外垣南門外神路右陞禮法駕鹵簿前導
導迎樂作奏祐平之章皇帝回鑾王公從各官以次退不陪祀王公百官朝服於午門外跪迎午門鳴鐘
王公隨駕入至內金水橋恭候皇帝還宮各退
○歲暮大禱日
之禮以祭略之

任授壇

關右門の西より北に壇の制ありて西面より東方を成りて又三ノ階に上りて級階白石
あり上より下への石を方石と稱して是を築き内壇方七十六尺外壇の幅廣くして方
又下より上への石を方石と稱して是を築き内壇方七十六尺外壇の幅廣くして方
白石を以て築き内壇方七十六尺外壇の幅廣くして方

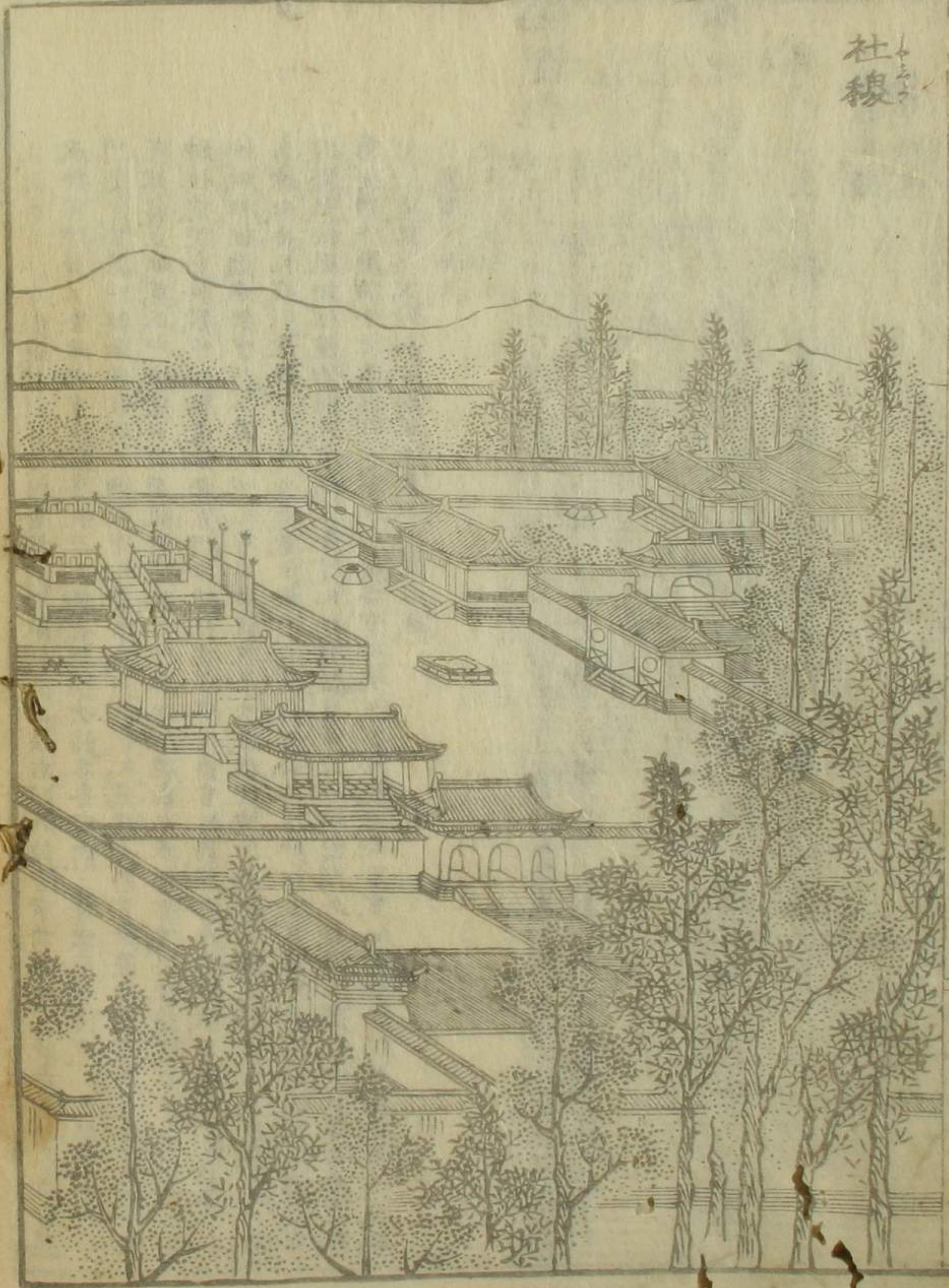
拜殿

壇の北より南に拜殿あり内壇の内外より七十二の柱を以て築き
あり内壇の内外より七十二の柱を以て築き

成の日天子親ら壇に登りては社を禱の神とありて

祭社稷禮
以祭略之

社稷

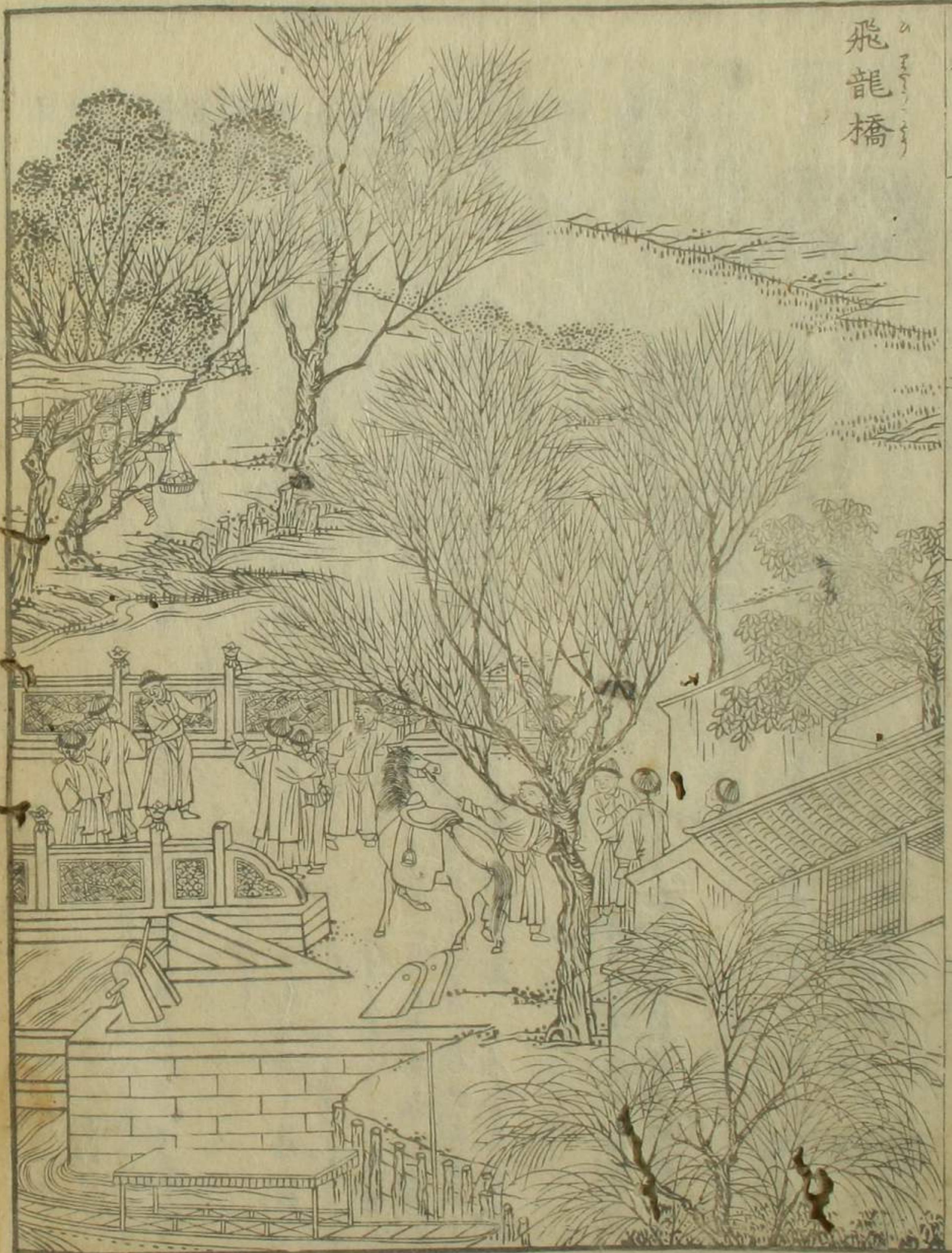
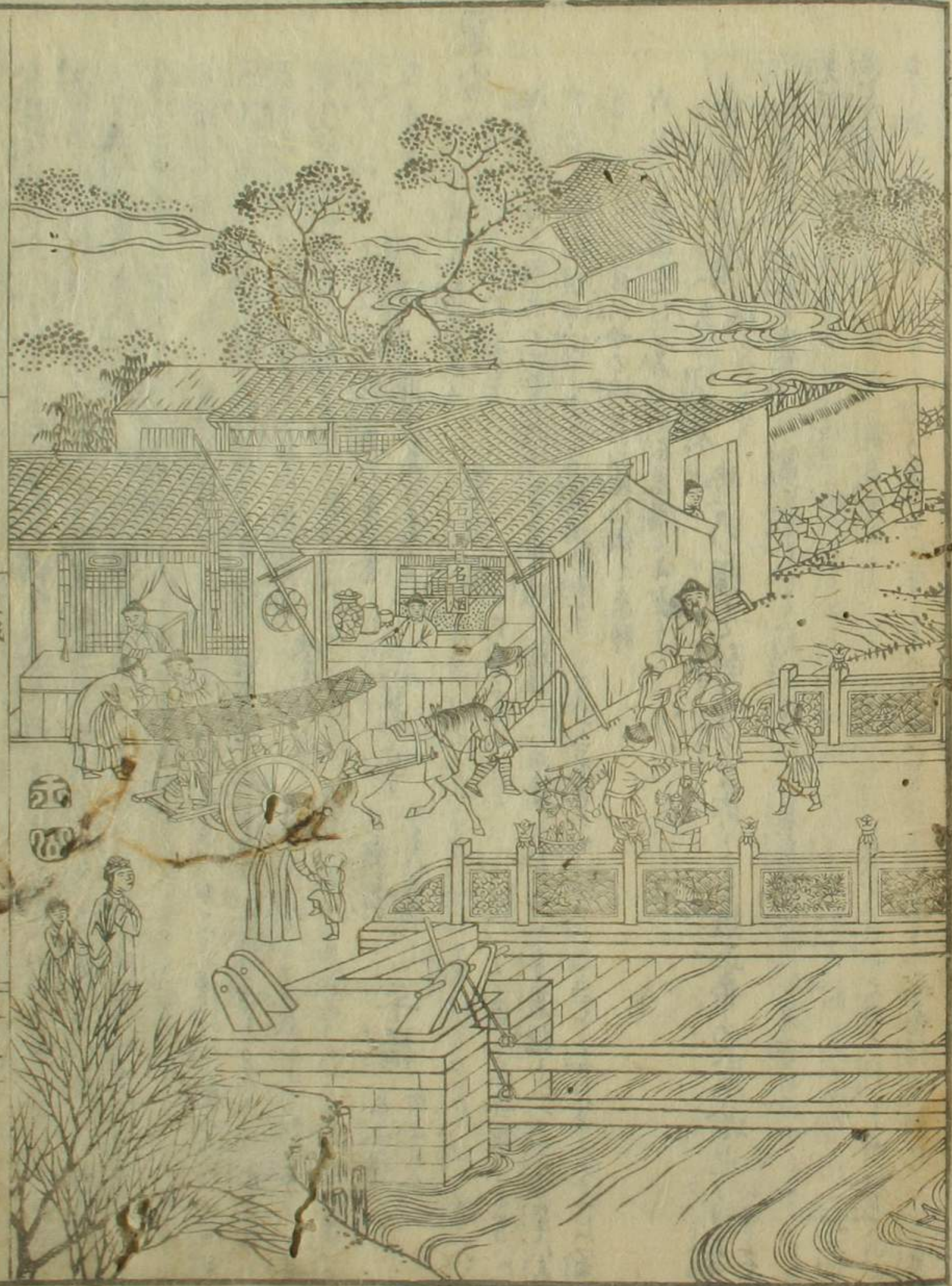


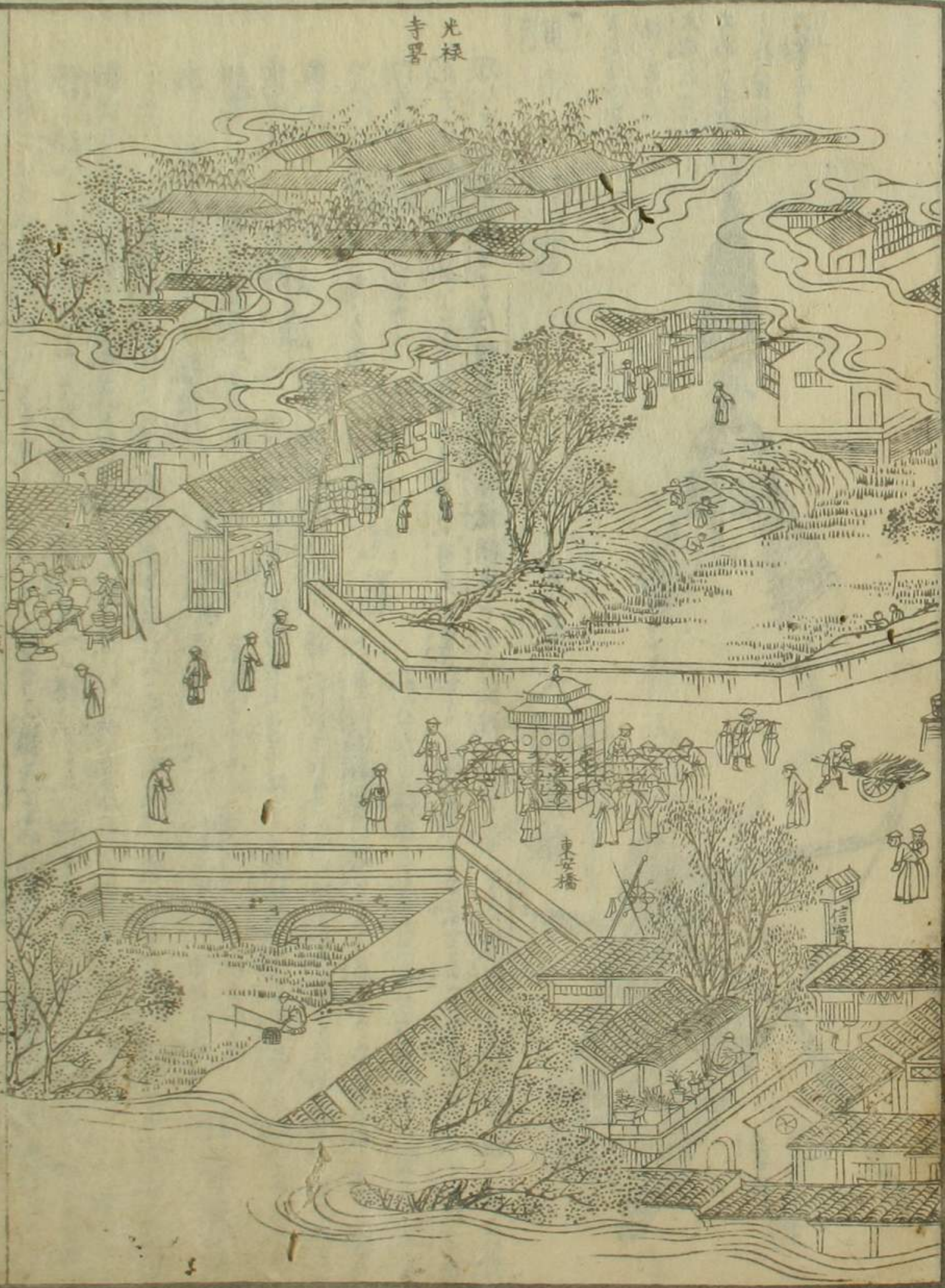
京師

皇城

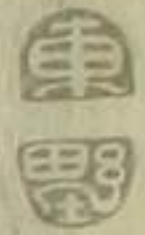
卷之二



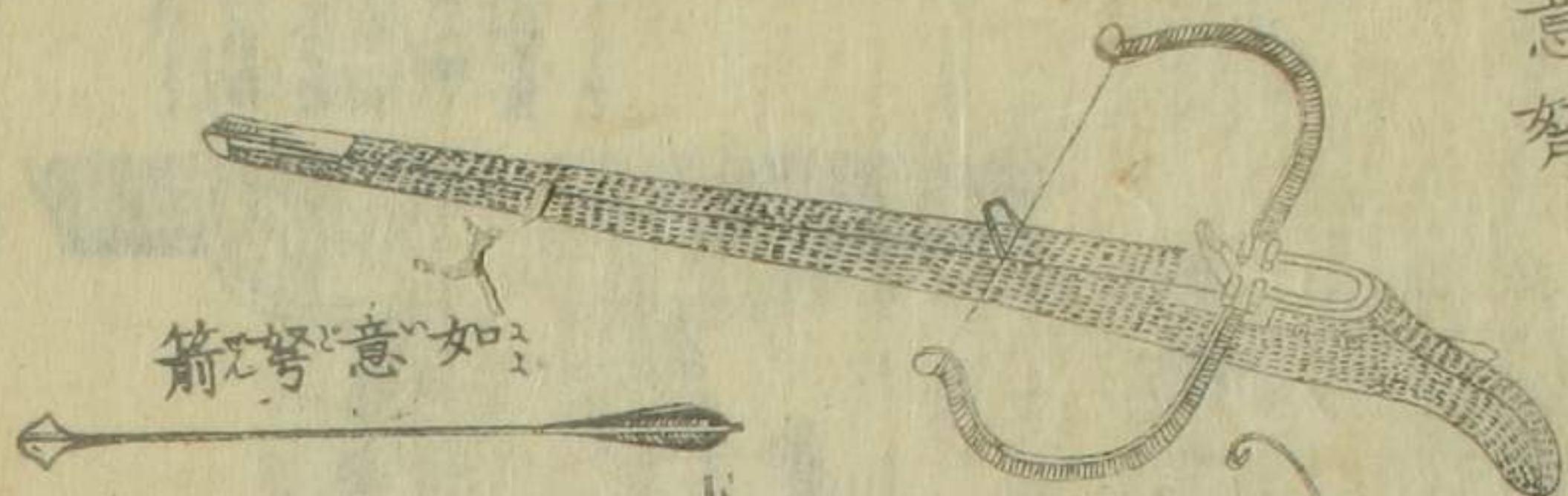




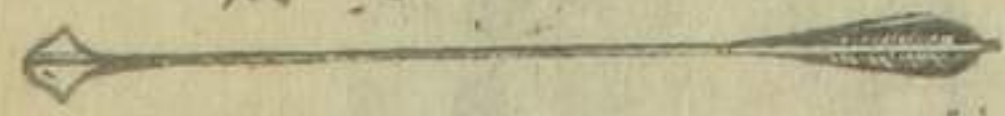
東安門
東安橋



如意弩



如意弩箭

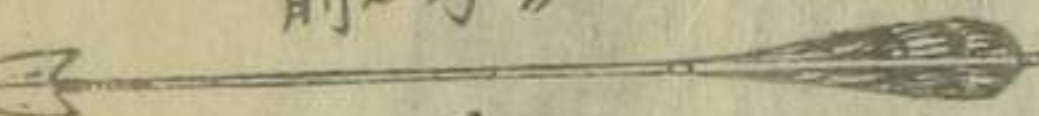


鈎

射虎弩

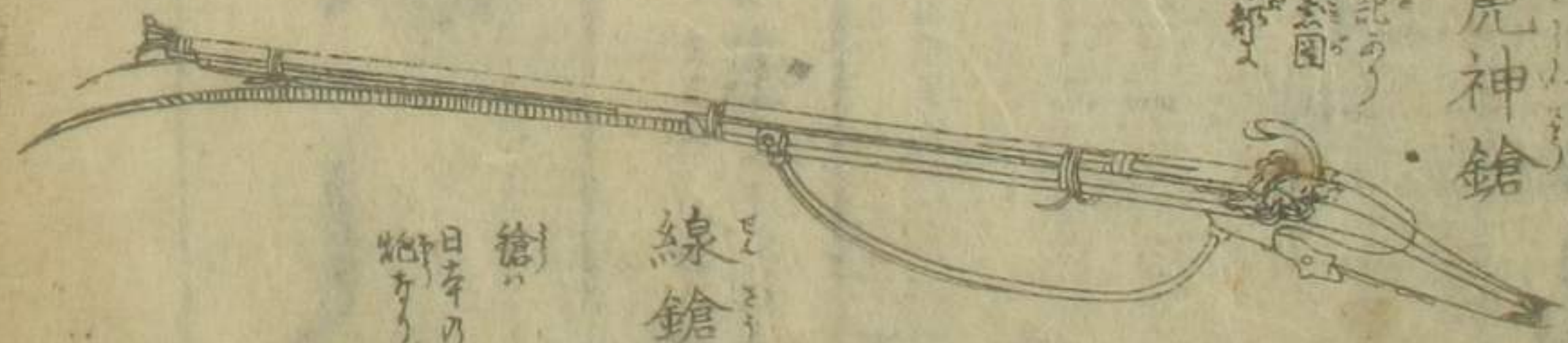


射虎弩箭



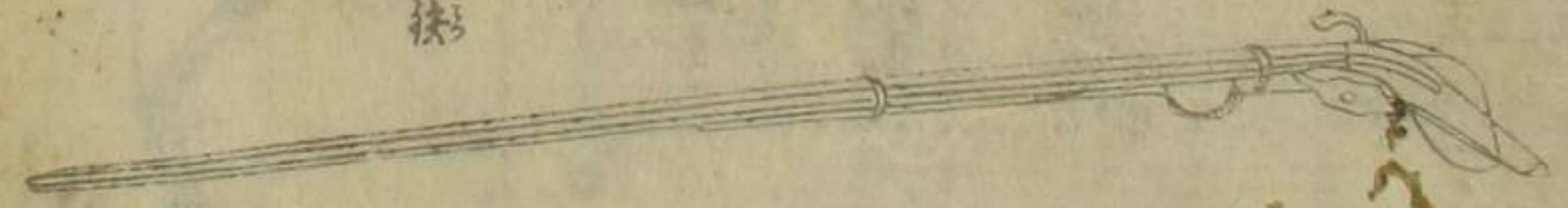
皇帝御用虎神鎗

所製の記号
書に記す
式を考す

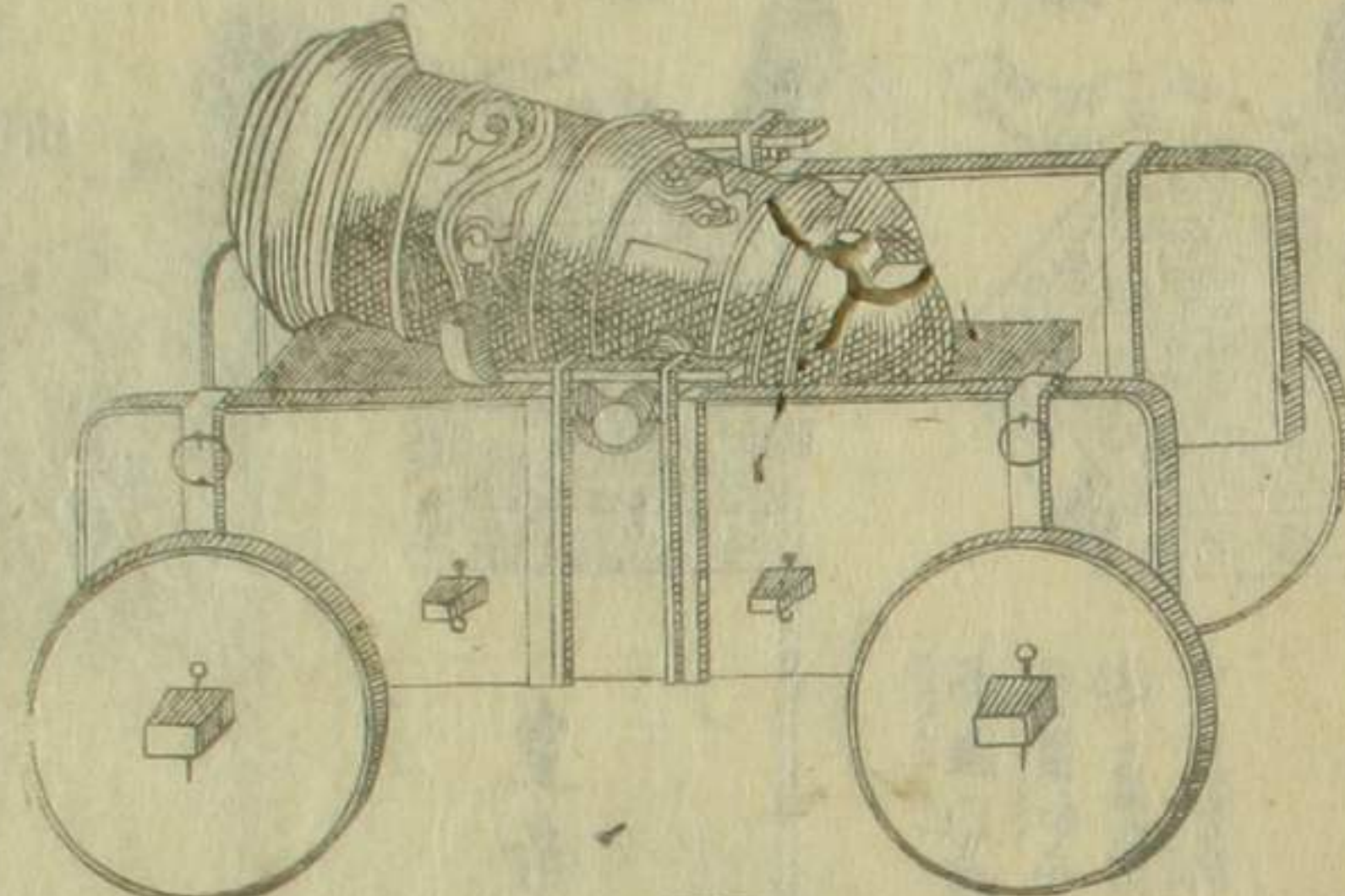


線鎗

日本
の
銃

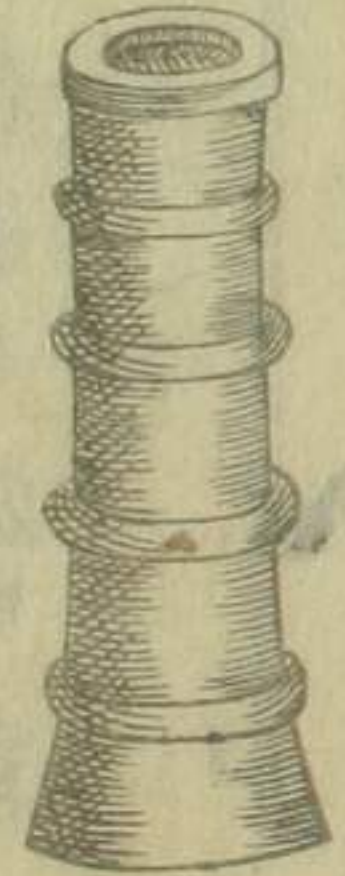


康熙御製威遠將軍礮

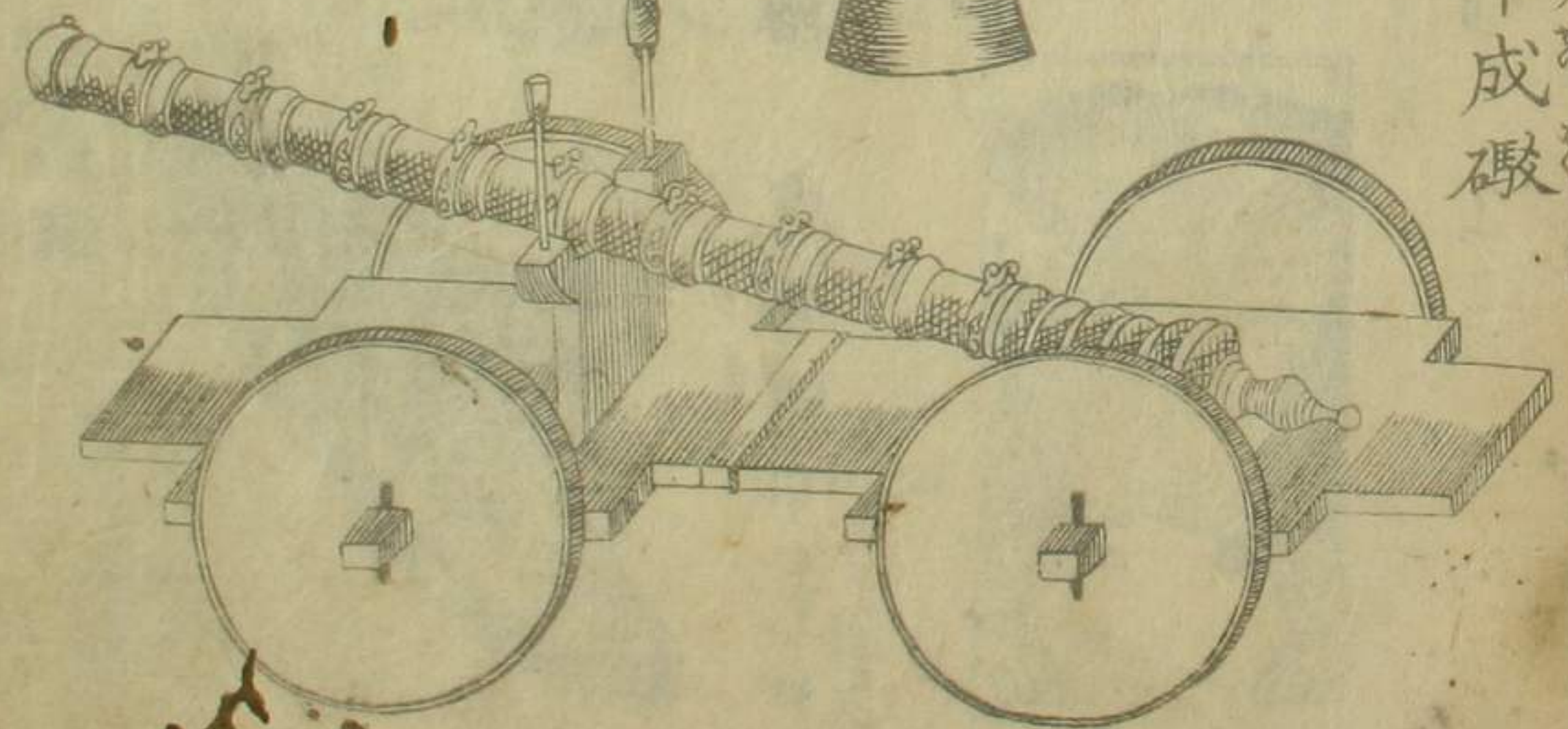


先節十成礮

行營信礮

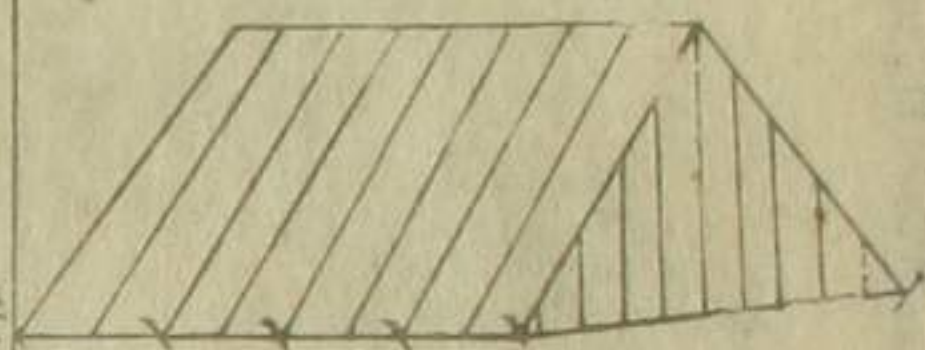


康熙御製威遠將軍礮
の所製なり其まは威遠將軍礮
威遠將軍礮の所製なり其まは威遠將軍礮
威遠將軍礮の所製なり其まは威遠將軍礮
威遠將軍礮の所製なり其まは威遠將軍礮



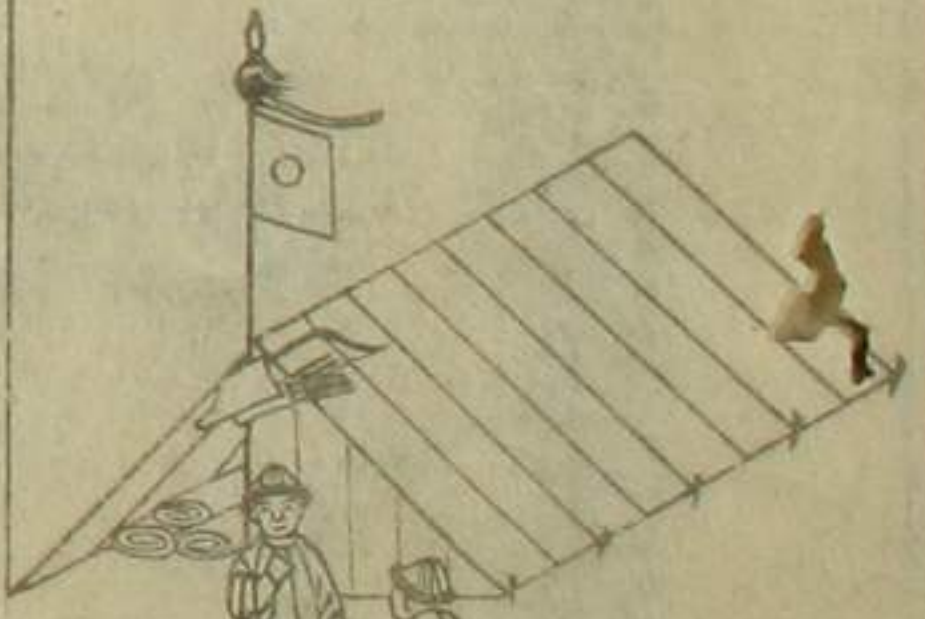
職官帳房

武職の官人の官帳
管のしるし帳房と
役けて玉座とて度
を益布とてこれと
制は



兵丁帳房

兵卒の者さす
白布をきてこそ
帳房



蓋官華蓋と執て柳のまき御座の
外甲庫 本華門外北
外禮庫 本華門外北
外南穀庫 本華門外北

日所 熟皮作 日布にあり、騎河樓と相対
○ 恩豊倉 本華門外北園房より
○ 備置

斯文館 本華門外北
○ 宣仁廟 北池街
○ 凝和廟 北池街、騎河樓の南あり

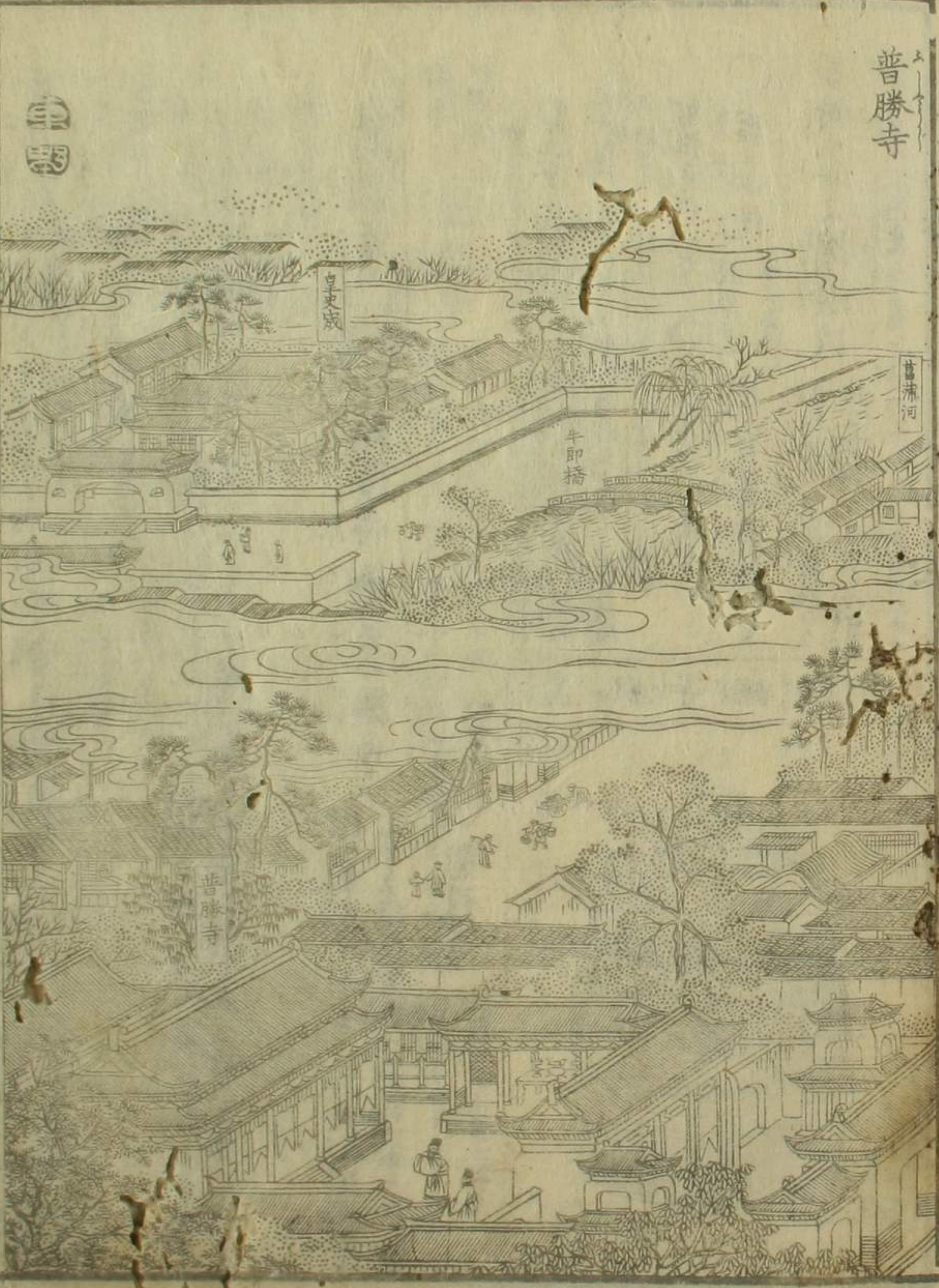
○ 世宗皇帝御書の額あり
○ 凝和廟 北池街、騎河樓の南あり

て雲津とあり、門は世宗皇帝御書の額あり
○ 關帝廟 騎河樓街、廣明殿

○ 騎河橋 本橋のゆあり、燕史云、亭は橋より居て、極楽をこ
○ 北箭亭 ○ 眞武殿 御馬園の南あり、即眼の

○ 御馬園 後園あり

普勝寺



馬津廟樹あり、明の御馬

變り馬津の蒿河なり

康熙帝の御書あり

廟内、樹あり、上、明の正徳十

あり、皆歴朝

○一等忠勇公第

馬津廟樹

○明の代御馬監の東に北花房あり、北花房の小河に小龍あり、其長一尺許、其姿如

帝命、一、玉龍

○智珠寺

○嵩祝寺

乾隆帝御書の額あり

○智珠寺

○法淵寺

嵩祝寺のあり、寺内、銅鼎あり

○智珠寺

○吉安所

嵩祝寺のあり



嵩祝寺の銅鐘

○隆教寺

隆教寺あり、明の代、隆教寺あり

○五聖祠

五聖祠あり、明の代、五聖祠あり

○興隆寺

興隆寺あり、明の代、興隆寺あり

○華嚴寺

華嚴寺あり、明の代、華嚴寺あり

○朱彝尊賜宅

朱彝尊の賜宅あり、明の代、朱彝尊の賜宅あり

○監造花炮處

監造花炮の處あり、明の代、監造花炮の處あり

黃封内膳傳供給
白蠟名香抵束修
苦何須識了字生
見 弥月即封侯
右 查副環雜咏詩
華亭武溫其寓

京師

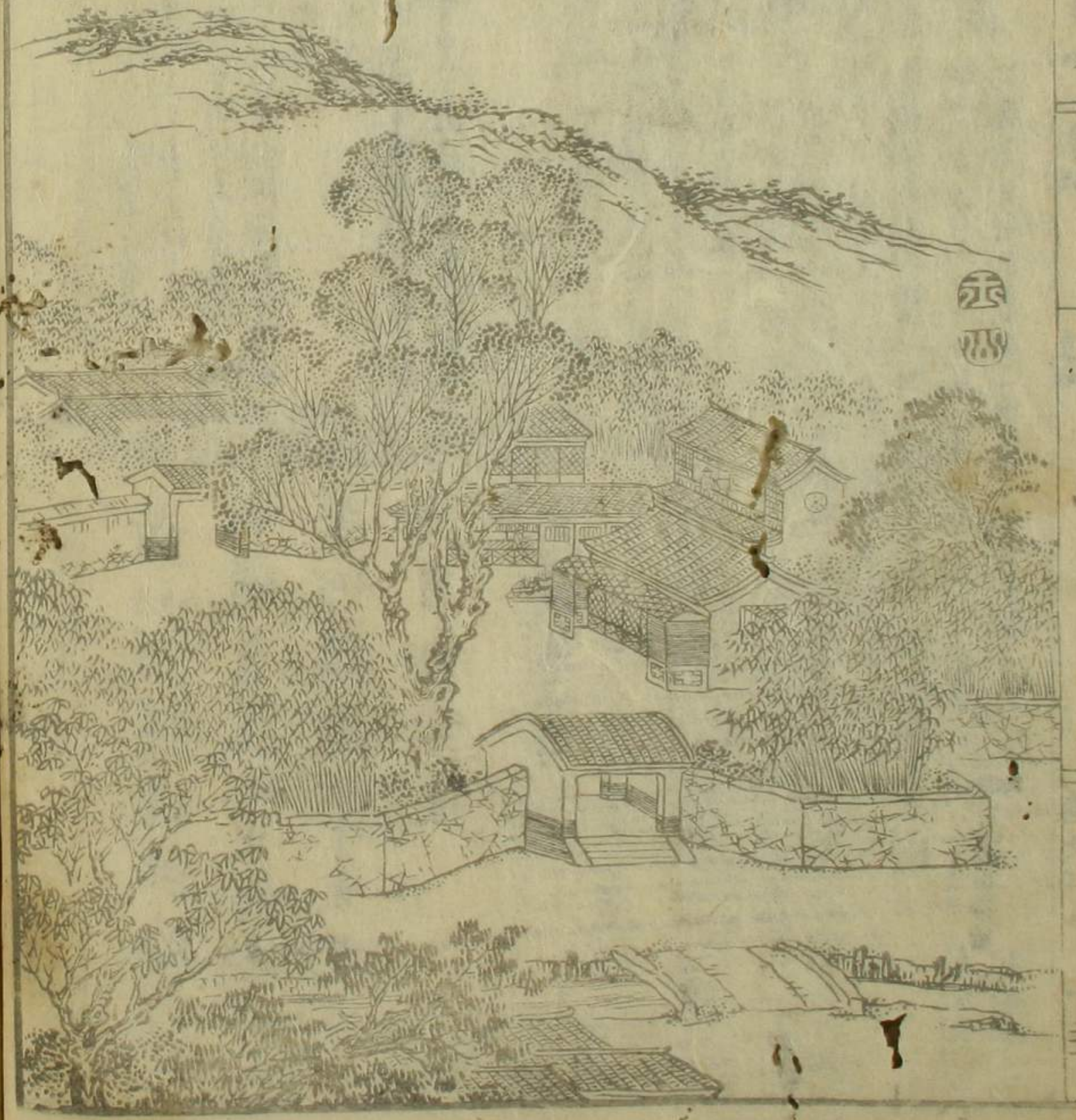
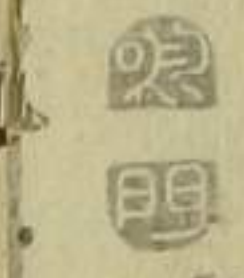
皇城

朱竹垞賜宅

講直華光殿
居移履道坊
經營倚將作
宛轉繞宮墻
對酒非無月
攤書亦有牀
承恩還自西
報國祗文章

朱彝尊作

公廡書



竹垞先生之像



五經紛綸抽腹笥
布韞麻鞋見天子
歸來著書以沒齒
千秋之名在青史

錢唐龔翔麟拜題

界浦里榮書



景山 北よりあり 大内の鎮山一萬歳山と云ふ

園垣二里と云ふと百餘丈五の峯ありと云ふ

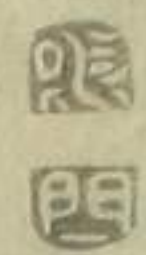
景山 北よりあり 大内の鎮山一萬歳山と云ふ 園垣二里と云ふと百餘丈五の峯ありと云ふ

景山 北よりあり 大内の鎮山一萬歳山と云ふ 園垣二里と云ふと百餘丈五の峯ありと云ふ

景山 北よりあり 大内の鎮山一萬歳山と云ふ 園垣二里と云ふと百餘丈五の峯ありと云ふ

景山

雪裏瑤華島雲端白
玉京削成千仞勢高
出九重城繡陌回環
繞紅樓苑轉迎近天
多雨露草木每先榮
成德詩

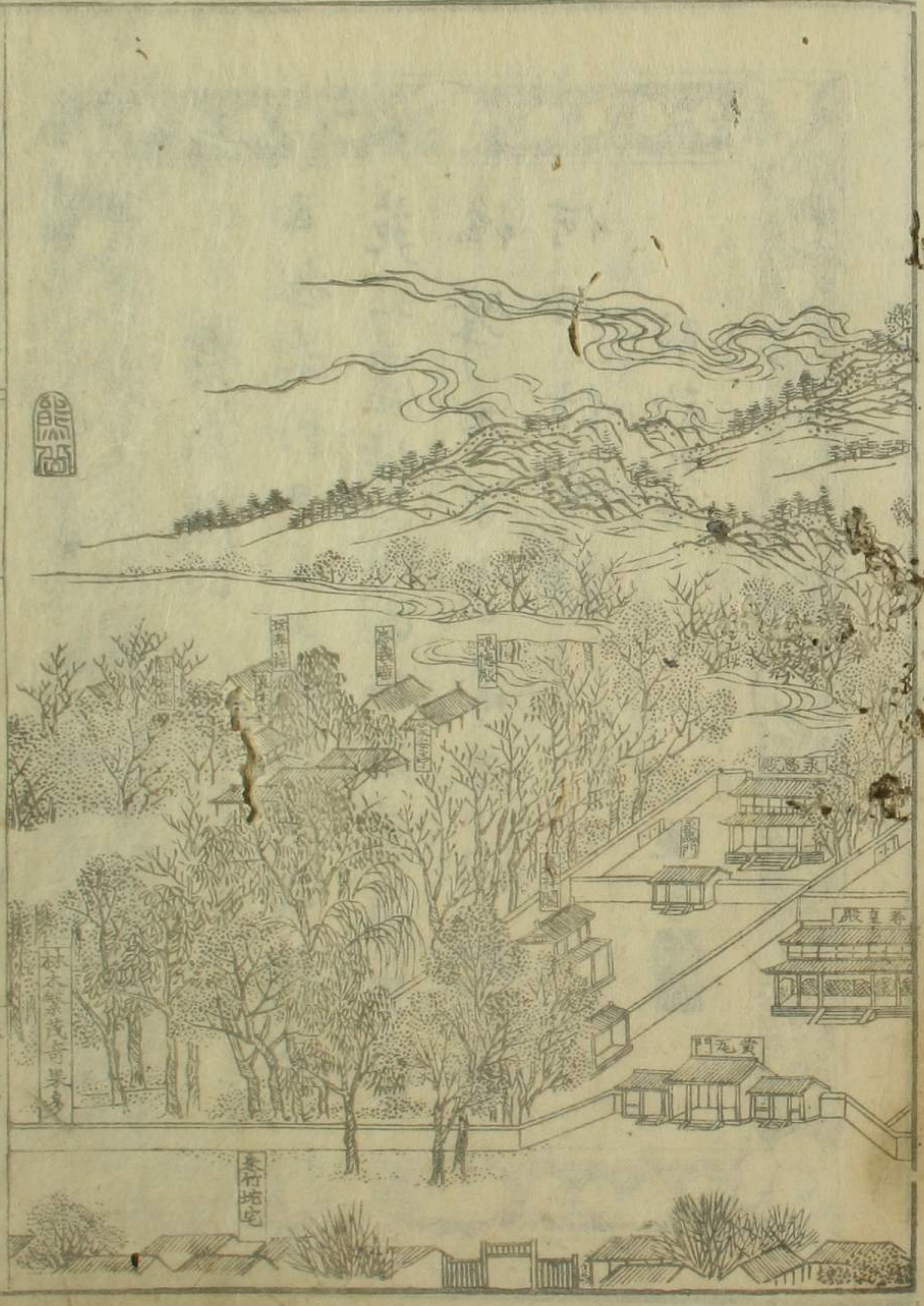


京師



皇城

卷之二



題萬歲山

五岳未躬日三山路不迷長楊秦苑北盧橘落園西珠斗凌杳近
嵒峰入望高
萬年回聖壽
何用訪丹梯

明政大任

九晚書



○原載門の南紫禁城は通て煤山あり其高數十仞本は煤山と云ふ傳
其下は石炭と振て閉成不慮の地なり

○萬歲山の元は寛慶地あり村衆の石を親徳水寺彫らるる親徳殿の東南お近きよきなり
内は牡丹芍薬の多きは大石壁あり其を基石奇なり

○臻福堂の明代萬歲山の西に樹あり其樹幹は鐵雲板と樹り僅に其三分と露見其石物なり

○稽察内務府衙門

景山西門の路北より都察院
衙門二人其を稽察

○白石橋

中門の魏の朝日あり
明の嘉靖に千石萬石

を此世に建中と考想を
海舎と云ふ石の窟あり

○護城河

紫禁城を繞る川方より北門より外に流して内宮院の石橋
大高玄殿の東北西門の外と流して此東城の窟あり

と南を廟の東玉芝宮龍橋の西と流其西に流るは石樓壇
り西より聖基室室の西より流るは内宮院

○大高玄殿

北門の
乾隆

帝御書の扁額あり
明の嘉靖中は建清の雍正乾隆間兩次重修と○門あり其二あり

物産園橋人巧と流る盡せり明の府中宮院九堂十八軒と号する

○大高玄殿は三層の樓あり今より出奉る殿内宮院道教と号する
○九内府は屬より若輩と名を付其刑

校二百以下の者刑部の條例に依りて流るは二百以上の者刑部を送りて其罪の輕重を

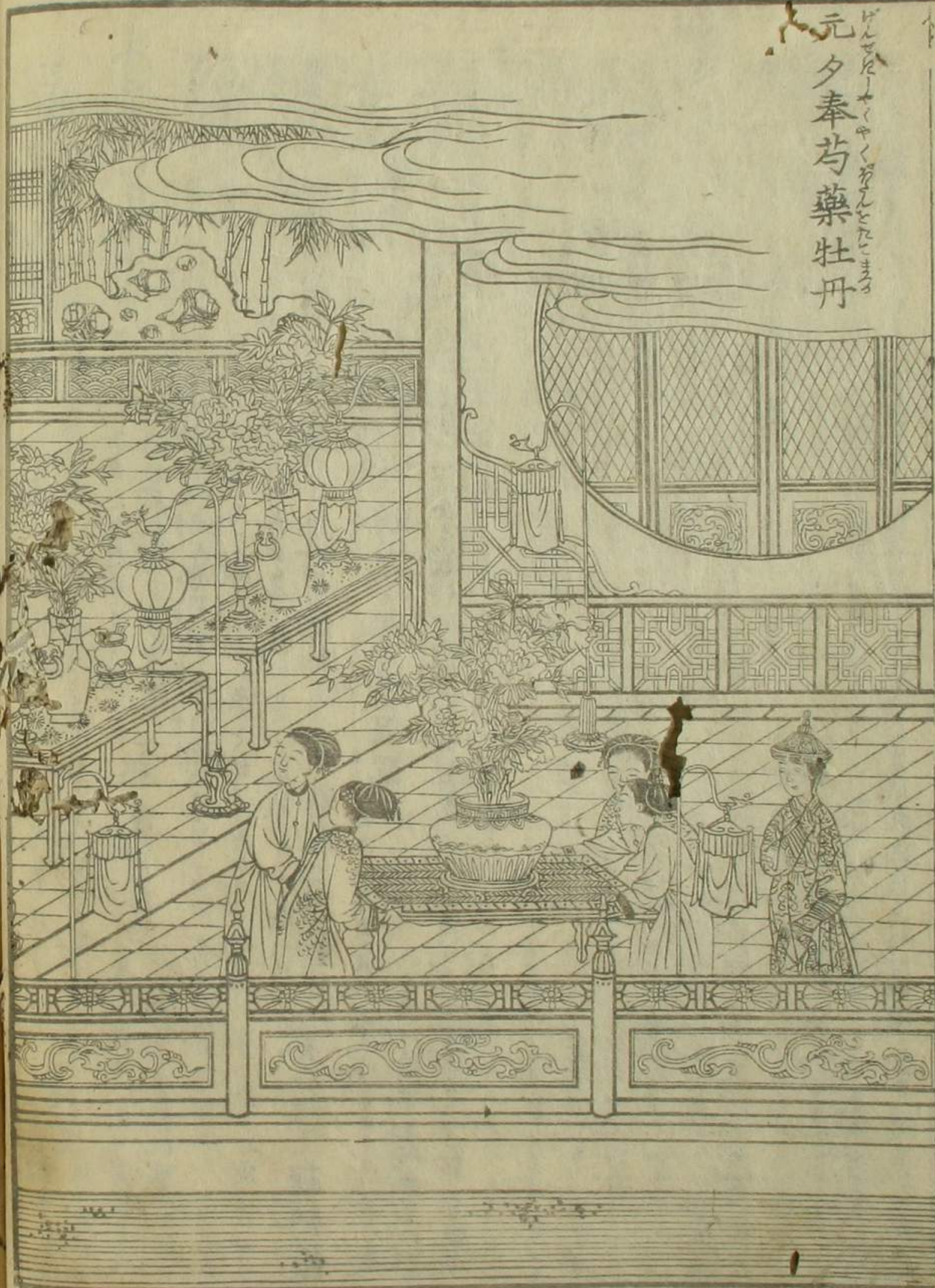
○慎刑司署

校二百以下の者刑部の條例に依りて流るは二百以上の者刑部を送りて其罪の輕重を

○慶豊司署
日あり年羊の廐と号する○九内三園と西門の外に流る外三園と号する

流るは年羊の廐と号する○九内三園と西門の外に流る外三園と号する

元夕奉芍藥牡丹



東

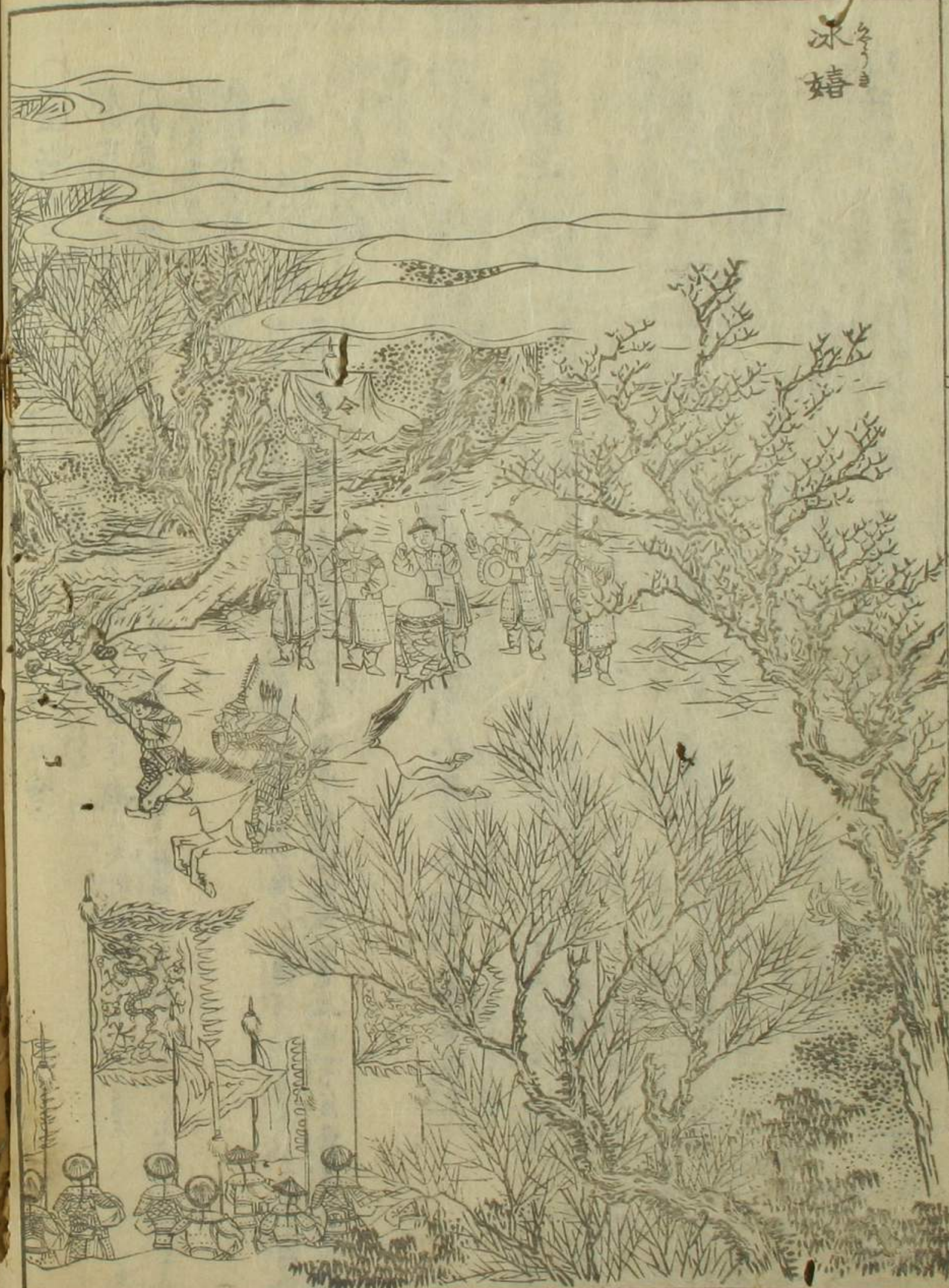
京師

皇城

卷之二

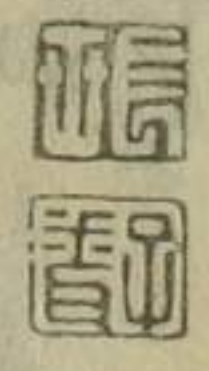


六
四



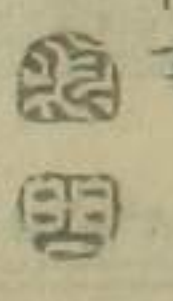
上巳接清明韶光滿苑城
曉烟和柳重夜雨為花晴
節物春長好年芳老自驚
西三脩禊伴閒話水邊行
右查慎行西苑上巳詩

鷓齋源長世書



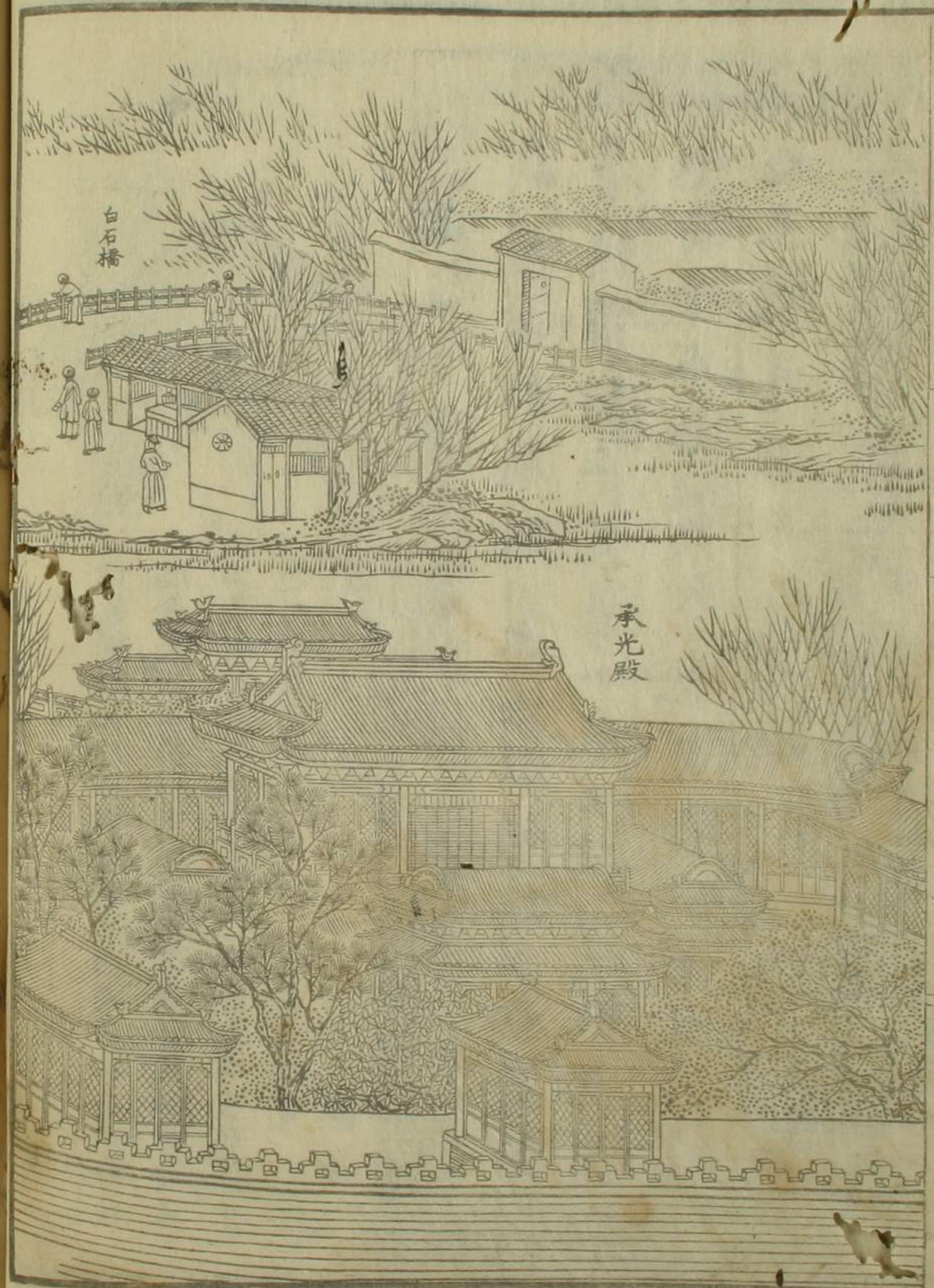
徐乾學西苑詩丹禁暗開畫漏遲上林春水綠透
逸金隄柳弱龍媒下玉殿花深雉尾移淑氣暗通
三島月和風先拂萬年枝宸遊扈蹕宜春苑多
是天街燈火時

荒鳴門書



新蒲古柏曉陰、太液晶明接上林翡翠
層樓浮樹抄芙蓉小殿出波心人歌鳧藻
衣冠會水奏箫韶鼓吹音欲望天顏真
咫尺露臺迴合彩雲深

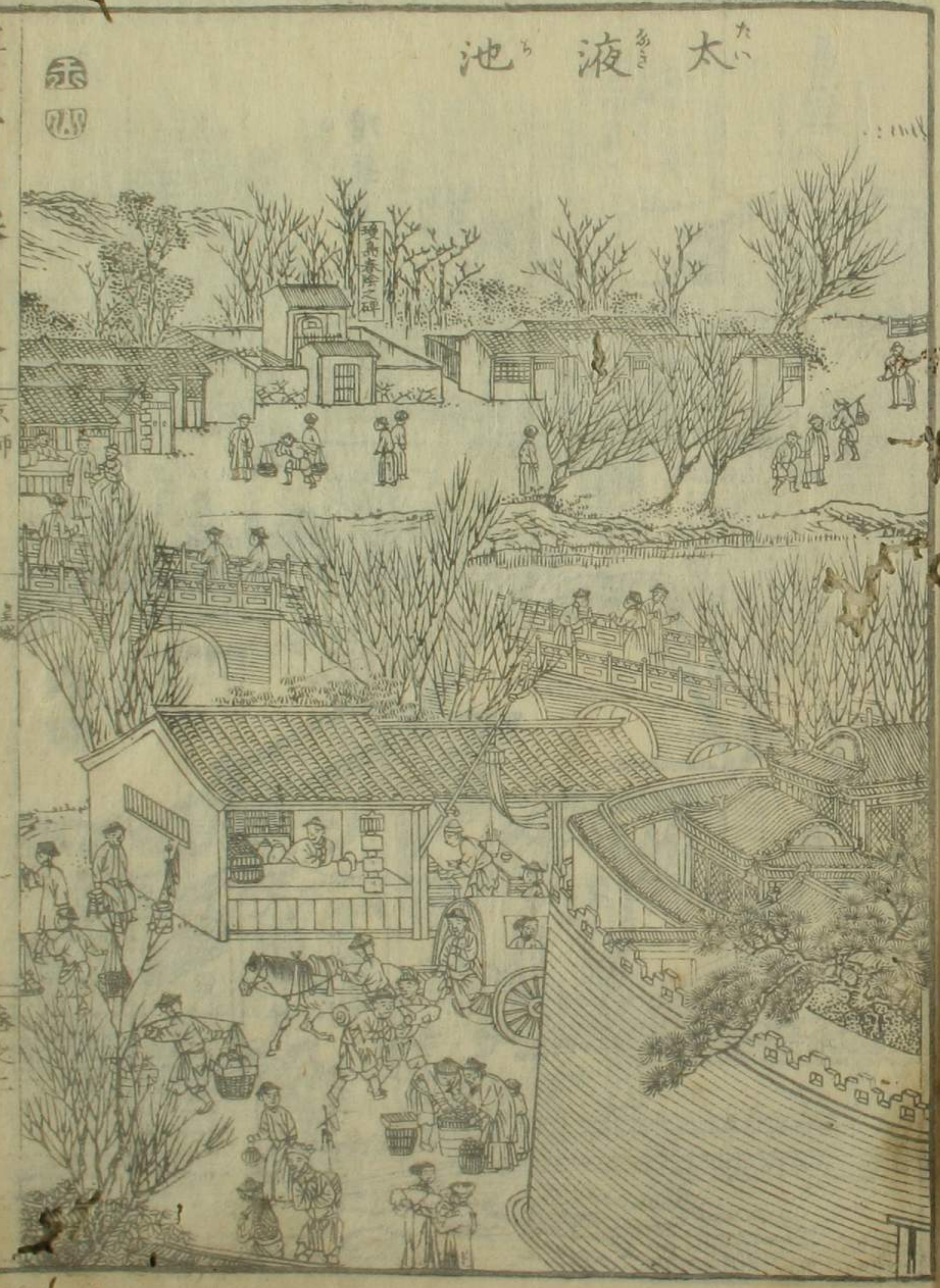
苑園章西苑曉詩
詩 河三友書



承光殿

白石橋

大液池

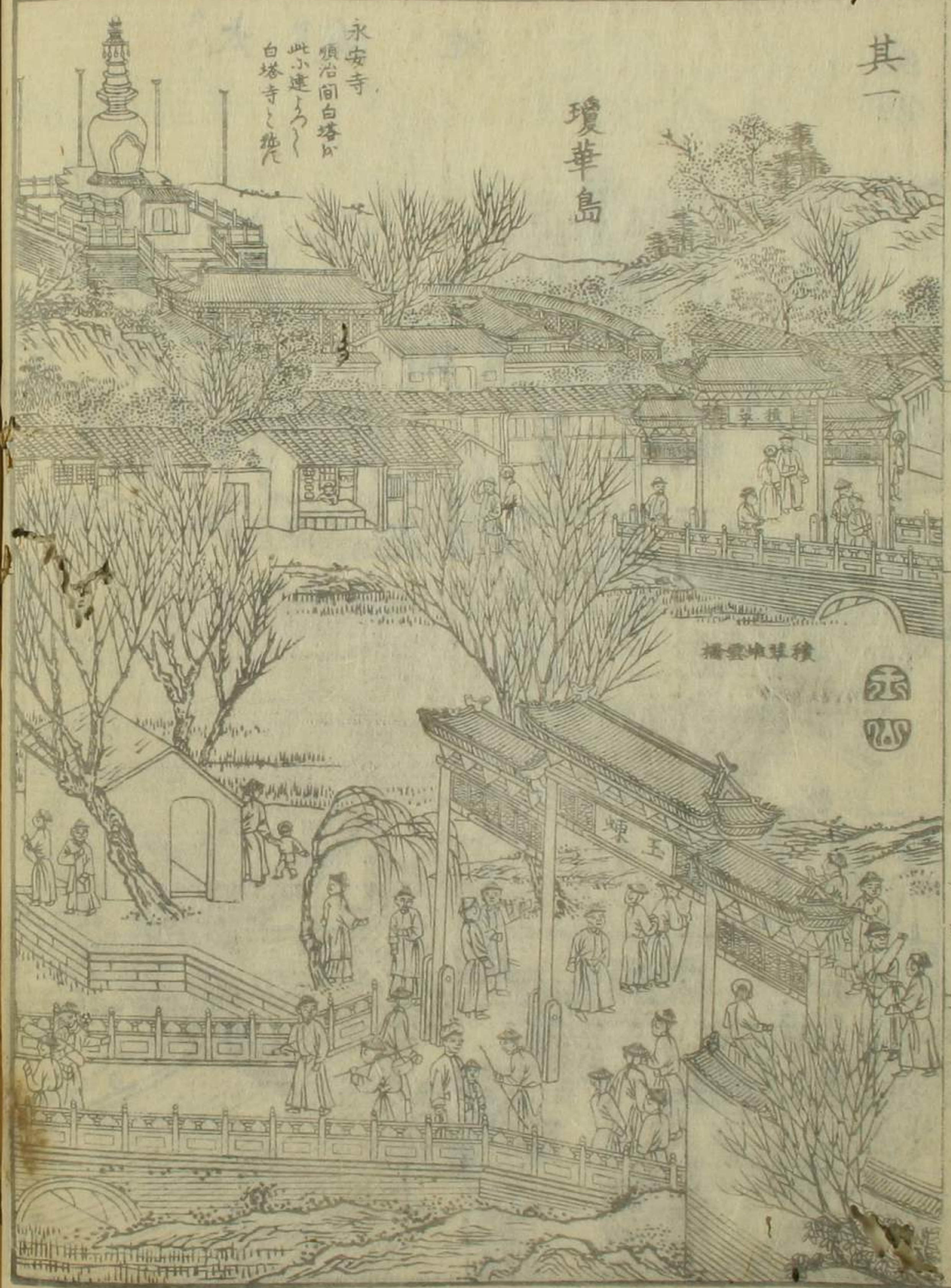


永
四

其一

瓊華島

永安寺
順治間白塔
此小建
白塔寺之塔



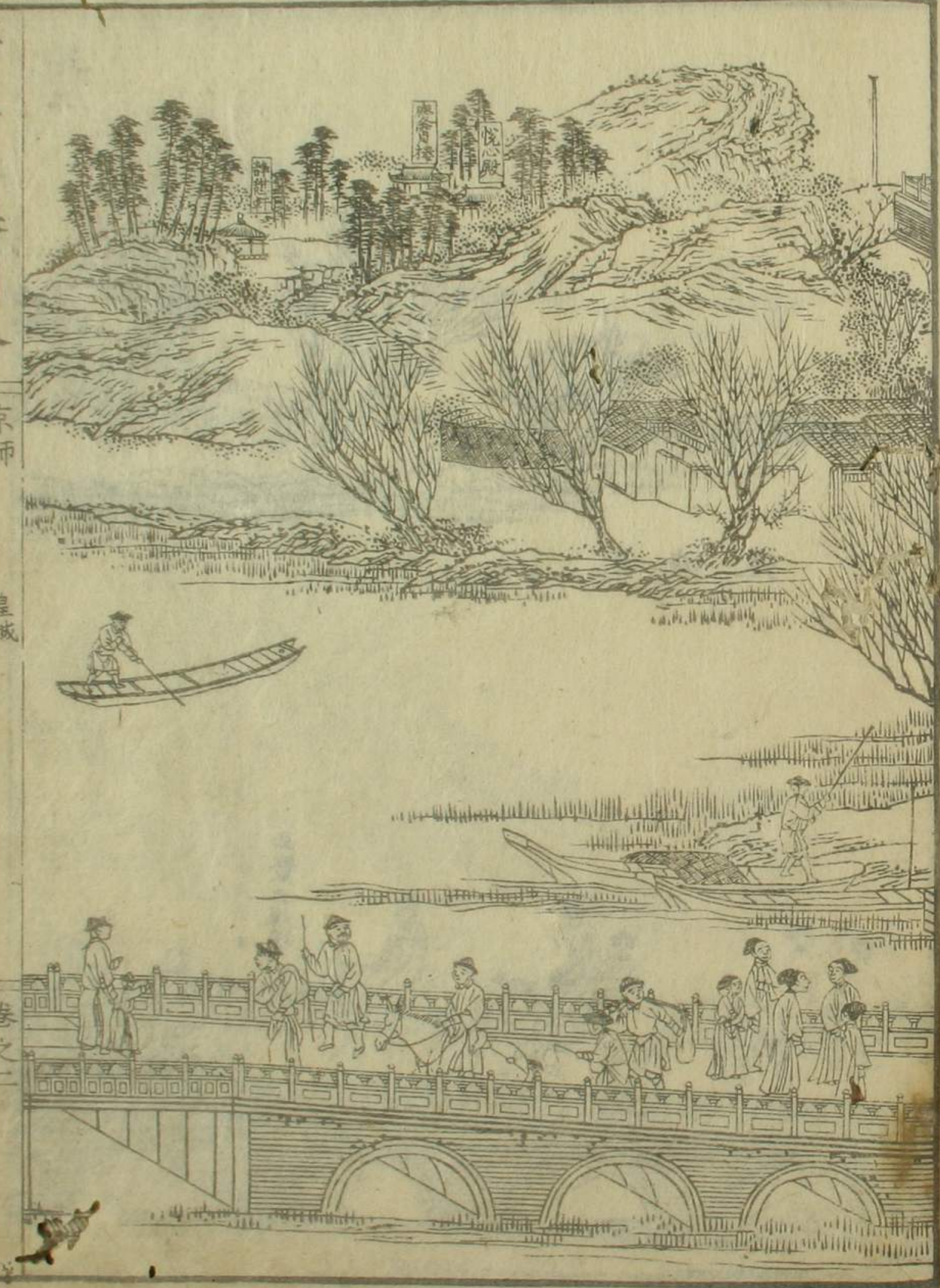
播雲堆翠樓



京師

皇城

卷之二



其二



大液池

金蟾王蟻橋

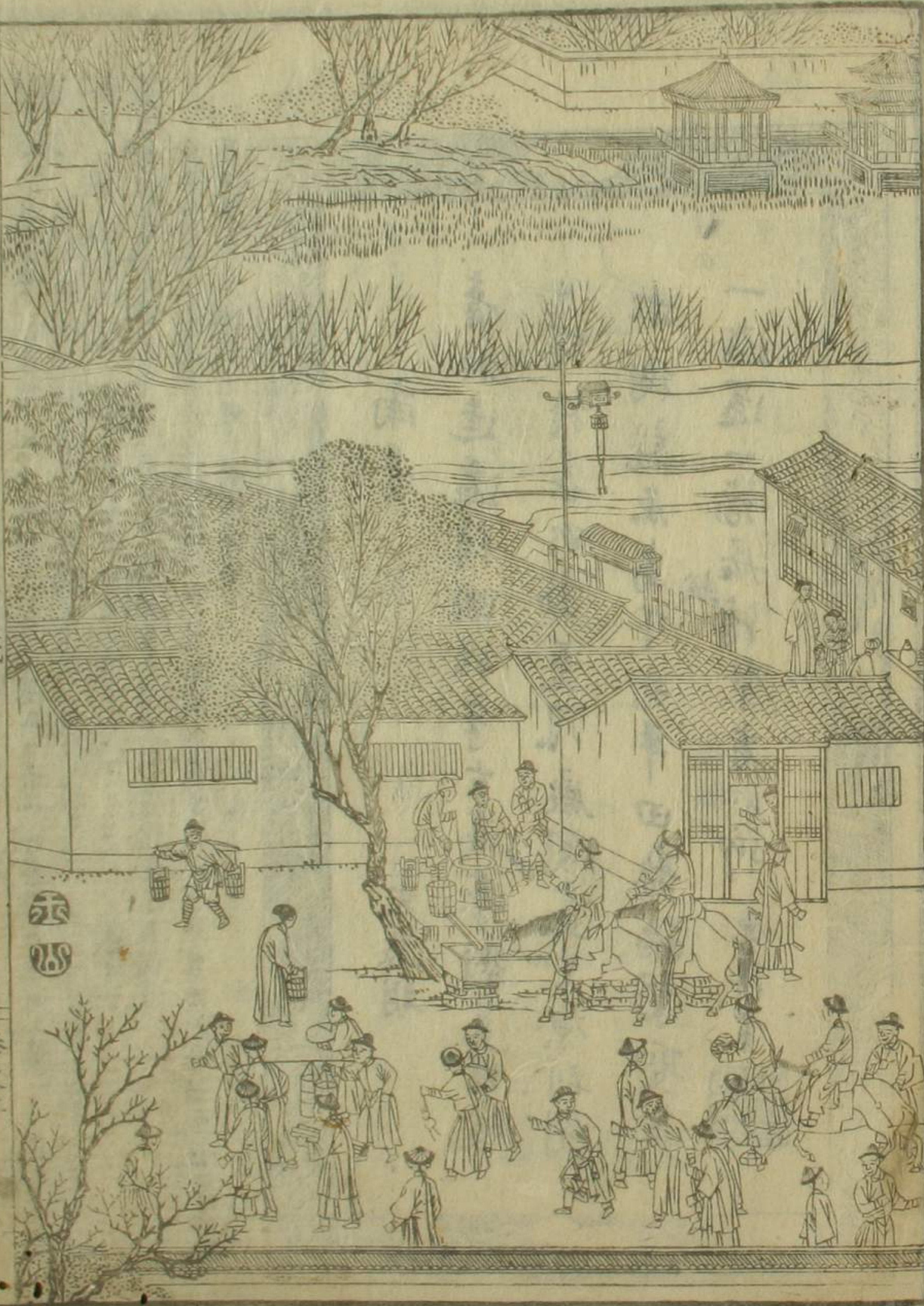


永

京師

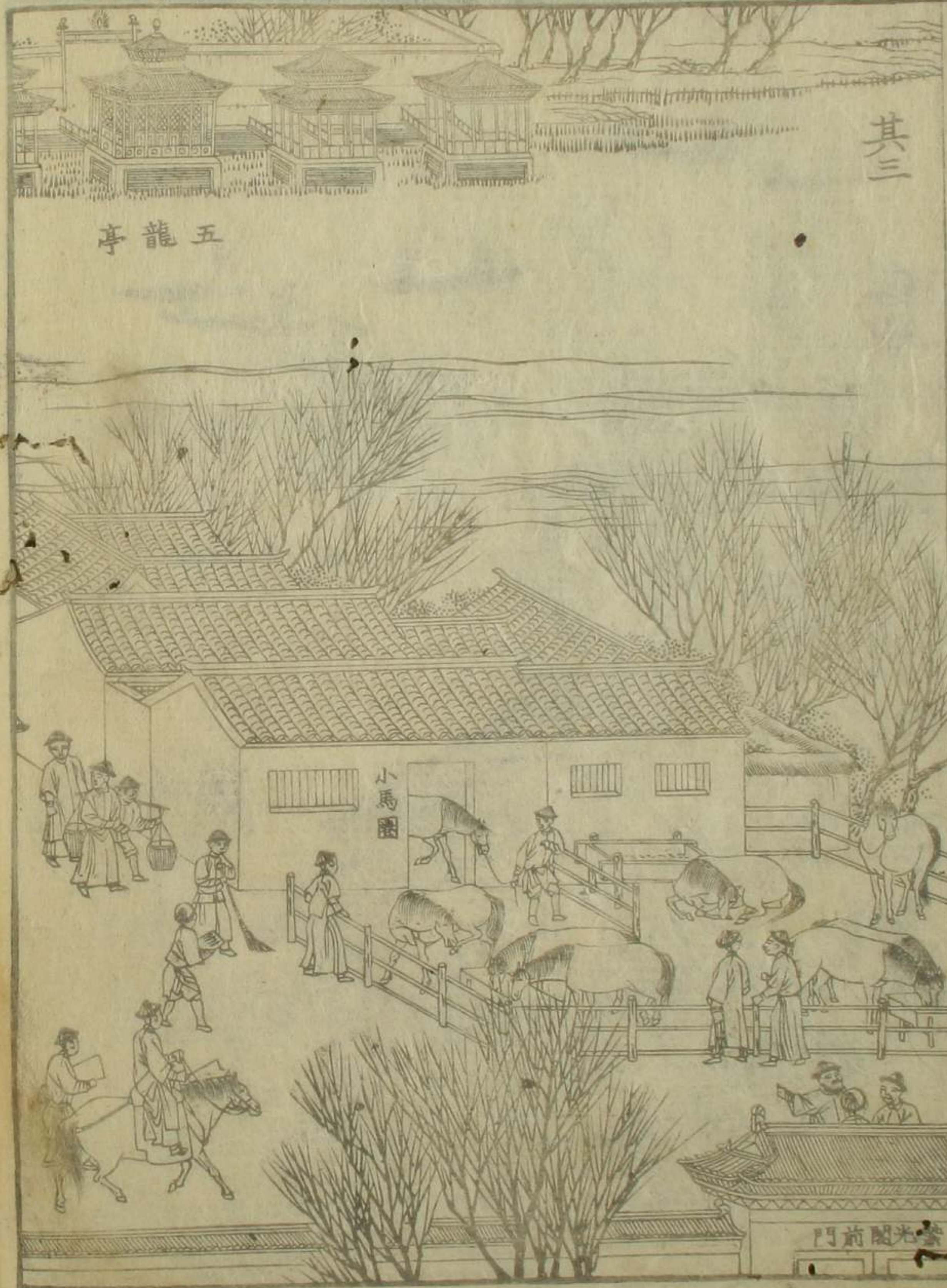
皇城

卷之二



六

其三



五龍亭

小馬圈

光緒閣前門

瀛臺 香宸殿の後より南より西より春明樓あり西より湛虛樓あり水一涘ありの趣き亭あり
○明代瀛臺を南基とし又擢基波と稱し故本所へ後中より昭和殿あり其基を
亭より南より村舎水田あり樹と觀るも又法の順法の間此より宮室を建す
暑と避るの趣き康熙の間修葺を加へ皆其趣を以てことと葺き節を美せり

徐乾學記云勤政殿之左歷小徑入門為知稼軒數武至秋雪亭其西則嘉穎軒南則御臨
亭平臨太液迤西朱牆內為豐樂園

南基

文淑明

青林迤邐轉回塘亭在基對苑塔暖
日麗旌表彩動薰風展閱畫生涼別開
松樹親魚鳥下見平田熟稻梁聖主
一遊還一豫居清禁有江鄉 原正所書



瀛臺殿の東邊樓を又東南より折て補書屋設其室の基を修月軒也
又瀛臺殿の西邊思樓の又西より春書屋設其室の基を修月軒也
瀛臺殿の西邊思樓の又西より春書屋設其室の基を修月軒也
瀛臺殿の西邊思樓の又西より春書屋設其室の基を修月軒也



古鐘



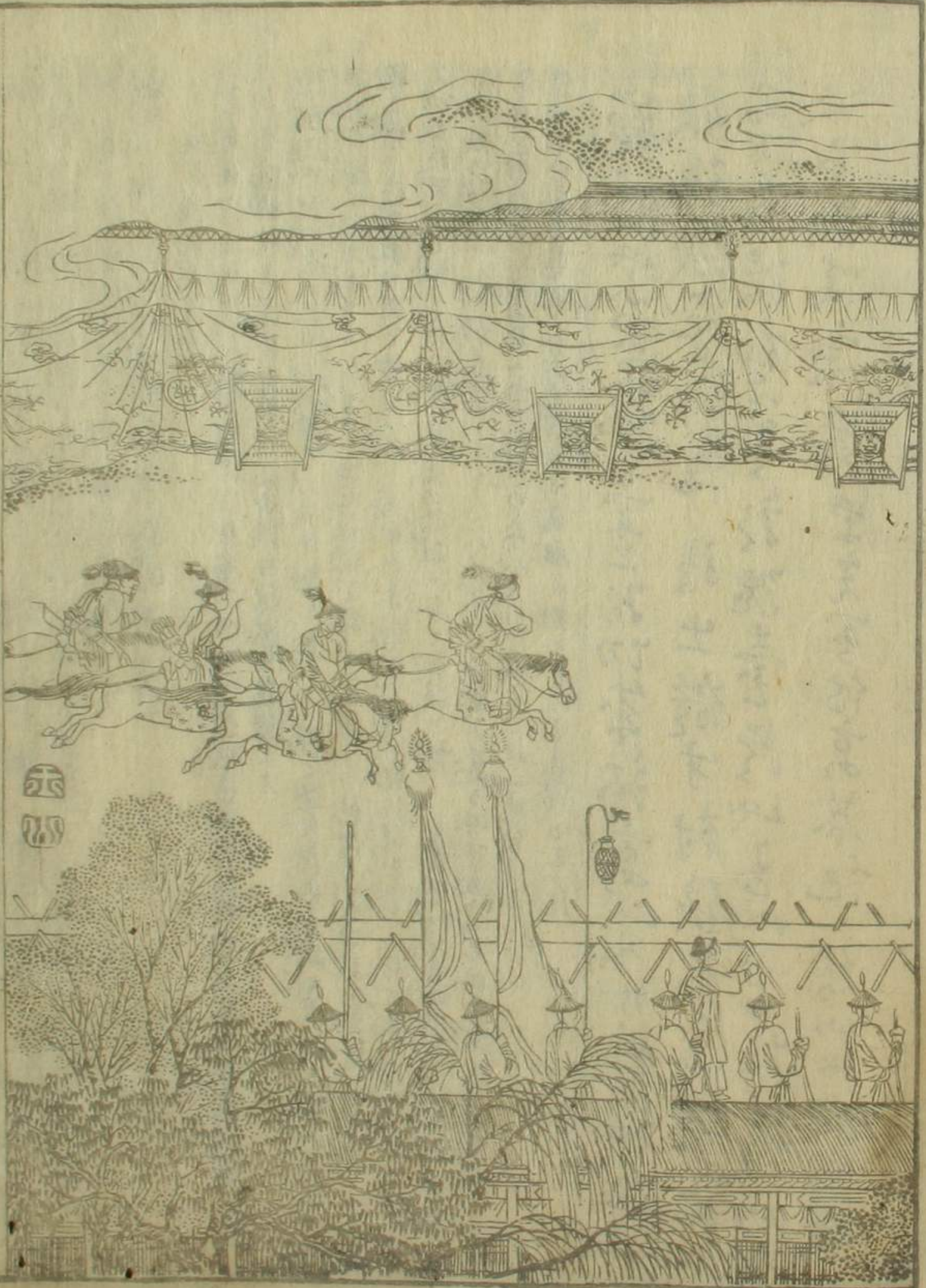
補鐘

流杯亭 類古の瓦垣門の南にあり此亭流水の中を流し凡無水橋
あはれさし澄と花は康熙の間常々外補書屋を以て此亭に修す

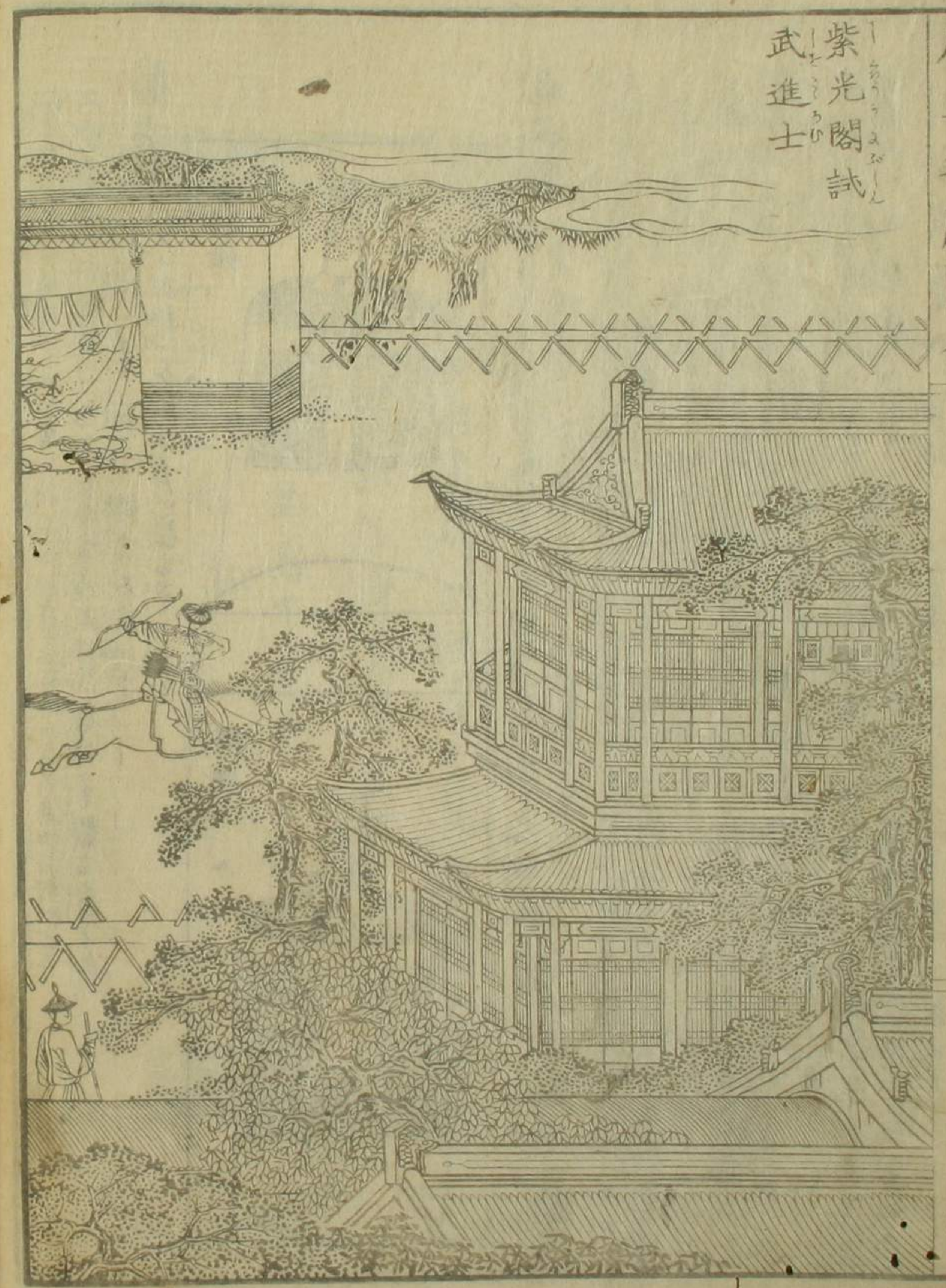
花と入類あり 北より南に修す其趣を以て此亭に修す
り詩を以て碑あり○池の岸より南に修す其趣を以て此亭に修す
女橋と遠く入春の軒と修す其趣を以て此亭に修す
其趣を以て此亭に修す其趣を以て此亭に修す
○瀛臺の南に修す其趣を以て此亭に修す
○瀛臺の南に修す其趣を以て此亭に修す
○瀛臺の南に修す其趣を以て此亭に修す
○瀛臺の南に修す其趣を以て此亭に修す

京師

皇城



紫光閣試
武進士



其臺ありと云圓頂の小殿を仰ぐ臺の下より斜に廊を接し懸級して外下と傳はれり此の
池通あり明の武ら小帝を祀りて村と園との間に平其臺と云ふ後其臺と傳して其一より此の
園を建門外に全敷けたり明の附天多此の臺
龍舟を園のりり向馬場の勇士多て遊玩と傳して存ん

明文微明平臺詩

日上宮牆飛紫埃先皇開武有層臺下方馳道依城盡東面飛軒映水開雲傍綺疏常不散
鳥窺仙仗去還來金華待詔多頭白欲賦長揚愧不才

康區同中伏の元三月上三旗の大臣侍衛を集りて村と樹は唐熙帝御制の詩に隊自花園入鑑
後柳外分とるを記すは畢て後正浪牌と傳ふも差あり○乾隆皇帝御製の詩に
園を接し又我の圖と傳ふと云く丙申の年西金川死に記し師と記して是と稱すは其後の
功あり百人を修し又紫光閣の記し師と記して其年の功長又十人の乾隆皇帝御製の
あり後の功長又十人の詞は師と記して其年の功長又十人の乾隆皇帝御製の
あり時應宮の園の北より丙申の年金川を成くは師と記して其年の功長又十人の
後その寶壽壽軍の廟を武成殿と傳ふは師と記して其年の功長又十人の

觀峰此ふを接し其年の功長又十人の乾隆皇帝御製の
收絶域を折侍積出能才村後不讓班班
等より後庭を記し師と記して其年の功長又十人の乾隆皇帝御製の
成る教の康寧は先王侍高恭記 松山田潤田

尊藏紫光閣得勝靈燾之圖

御製尊藏得勝

靈燾於紫光閣詩以紀事

亭鄧靖金牙威宣載旆燧烽消洱海德表結旌
爰開高閣以圖形並弄

靈符為守器廣夫一塵臨閣外羅文不修
禍機七宿炳

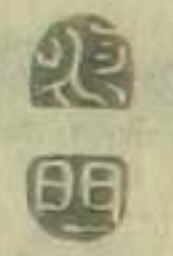
壇中壯志初傳鏡鼓方過和連而壓陣千山風鶴騰
聲更驅疏屬以揮軍百部沙虫掃跡昔也緬李
程斗斗遜是森羅今為輝耀郭弓 逾其英特
彼龍堆遠矣誰惟銅柱齊標而虎紐果然合與
金符同譜從此電霜生色非徒充武庫之儲還
將日月承 廣永隸奉常之掌

靈燾並尊藏拾摺伊古資

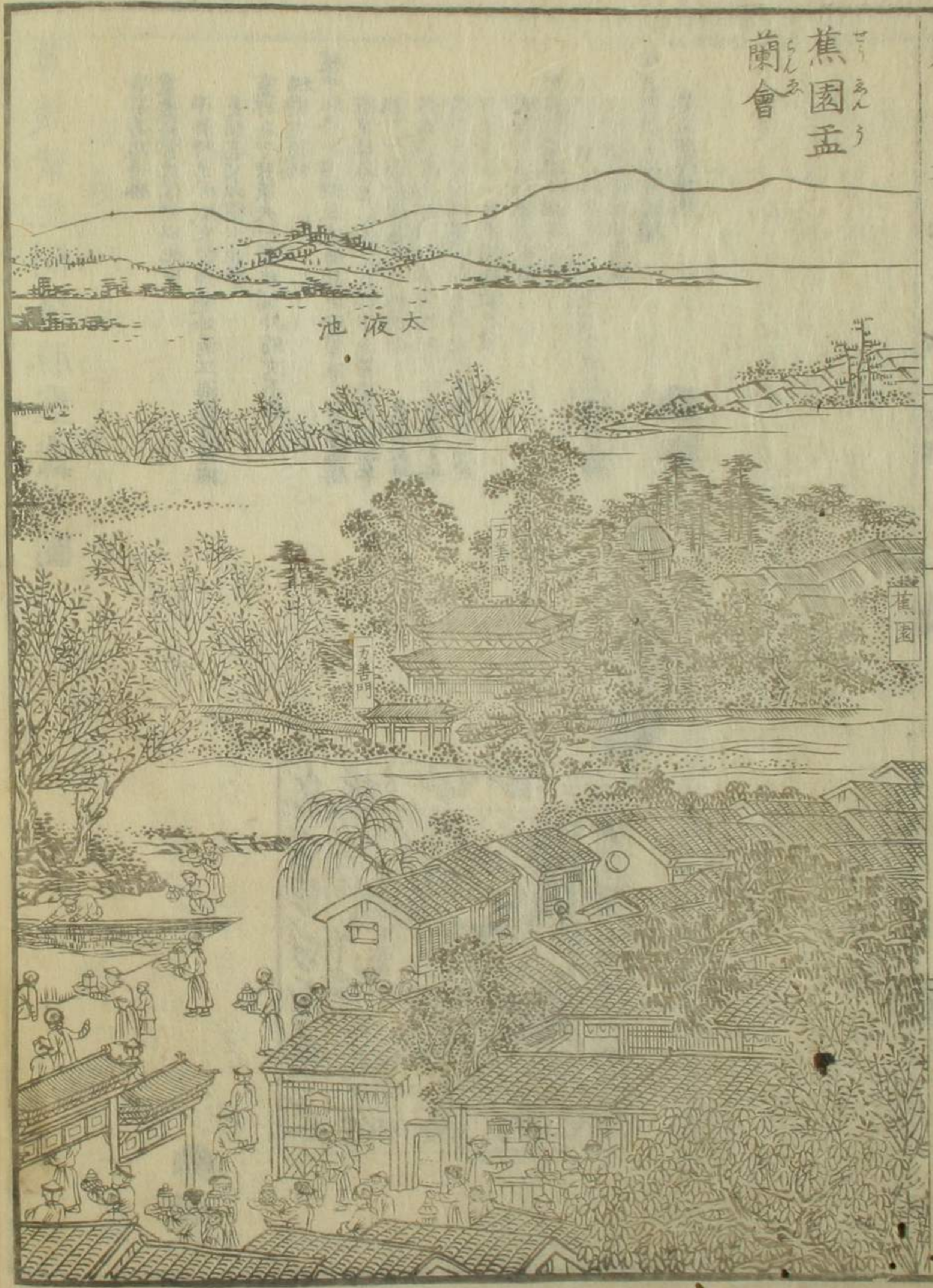
神佑功績從今紀太常信是元戎萬慮慎肯忘群
力効驪場持盈知足懷

乾龍敢復佳兵恃威強

乾隆庚辰孟春



蕉園孟
蘭會

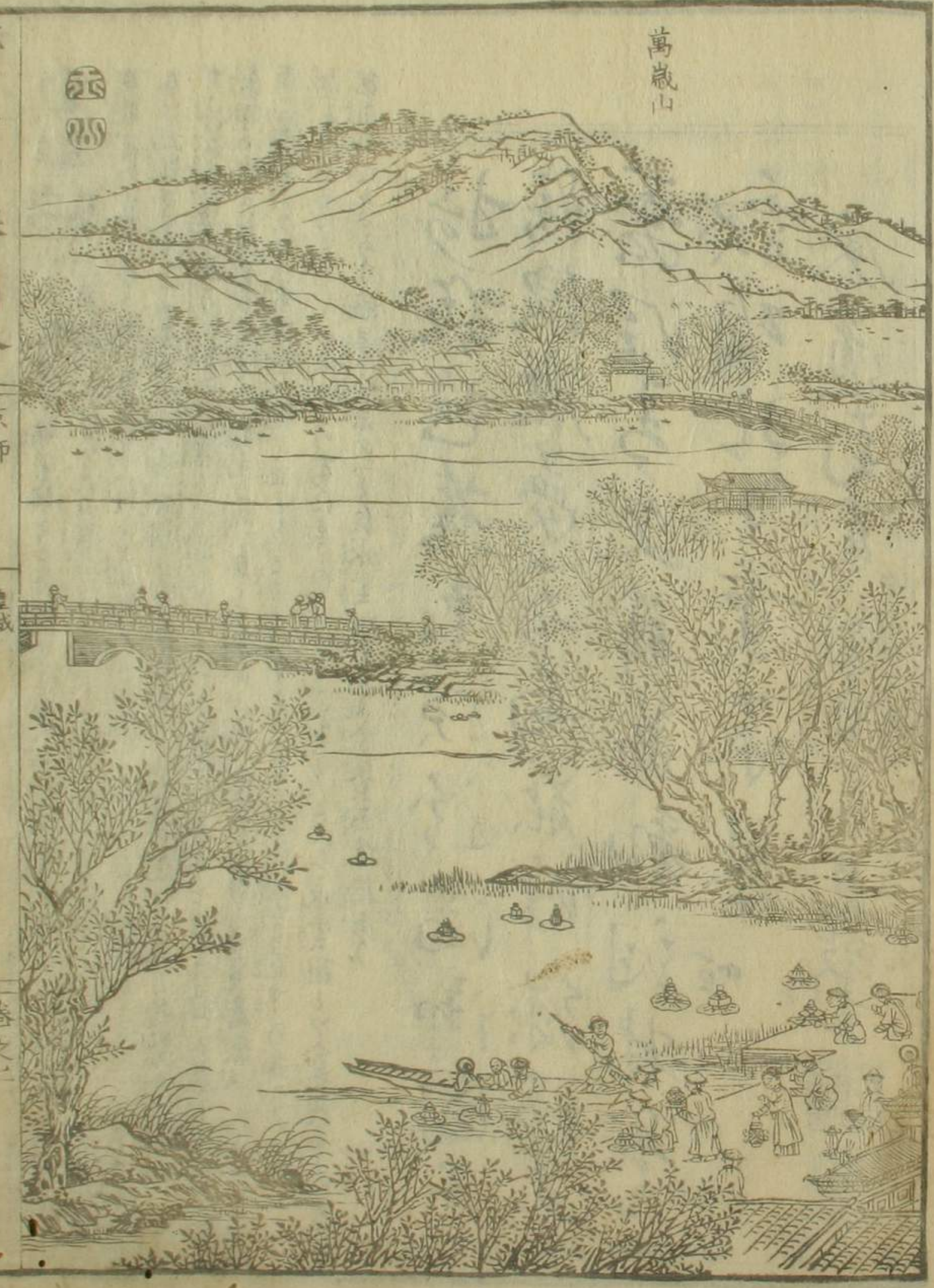


池液太

蕉園

萬歲山

三



京師

皇城

卷之二

瓊華島之北面

園古樓より北して東に則邀山亭... 瓊華島之北面... 園古樓より北して東に則邀山亭... 瓊華島之北面... 園古樓より北して東に則邀山亭...

瓊華島之東面

石壁より山頂に至る... 瓊華島之東面... 石壁より山頂に至る... 瓊華島之東面... 石壁より山頂に至る...

五龍亭

五龍亭の北に... 五龍亭... 五龍亭の北に... 五龍亭... 五龍亭の北に...

先賢壇

先賢壇の北に... 先賢壇... 先賢壇の北に... 先賢壇... 先賢壇の北に...

祭室

祭室の北に... 祭室... 祭室の北に... 祭室... 祭室の北に...

壇垣

壇垣の北に... 壇垣... 壇垣の北に... 壇垣... 壇垣の北に...

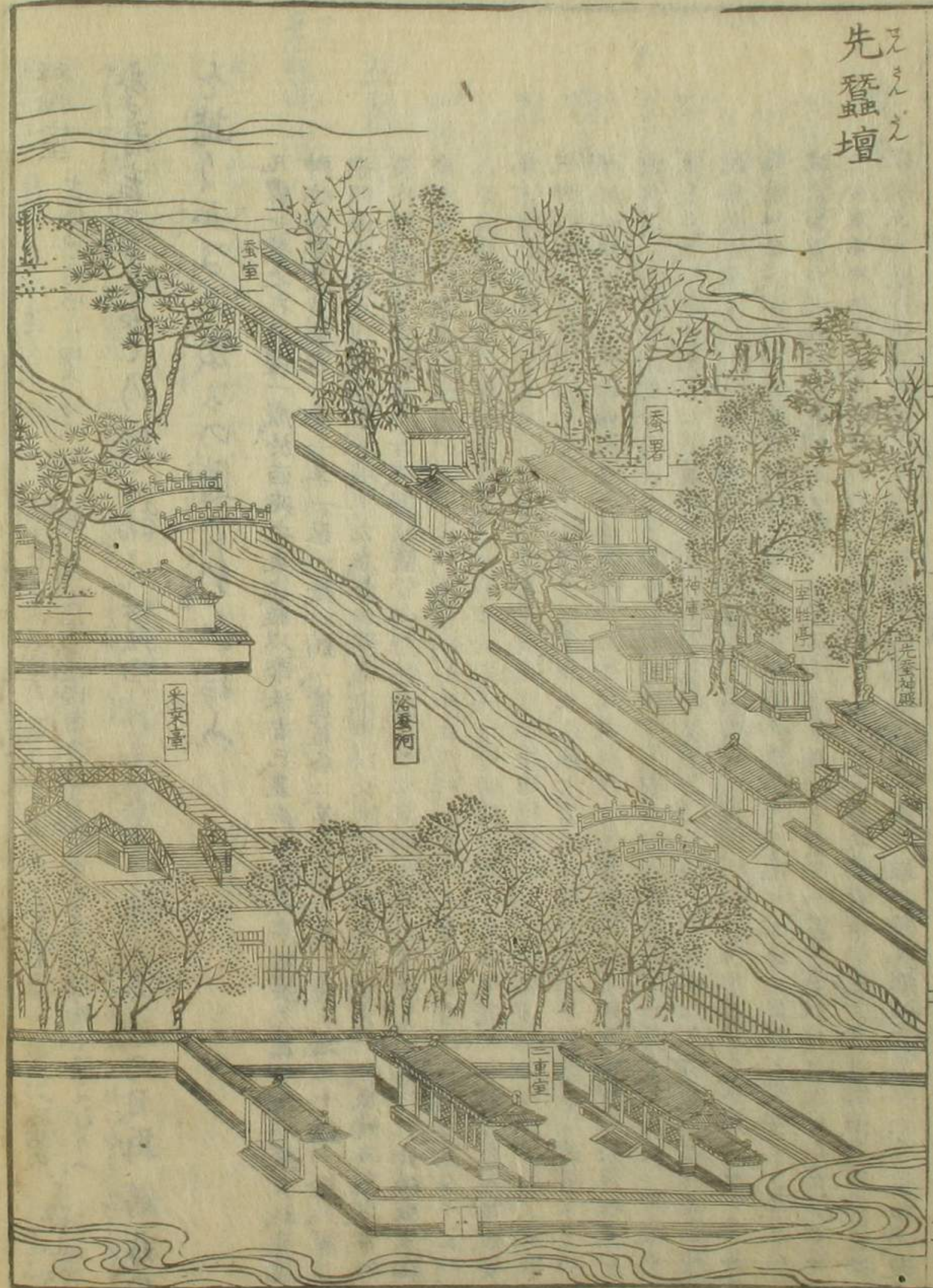
氷庫

氷庫の北に... 氷庫... 氷庫の北に... 氷庫... 氷庫の北に...

真腹殿

真腹殿の北に... 真腹殿... 真腹殿の北に... 真腹殿... 真腹殿の北に...

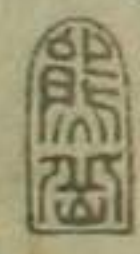
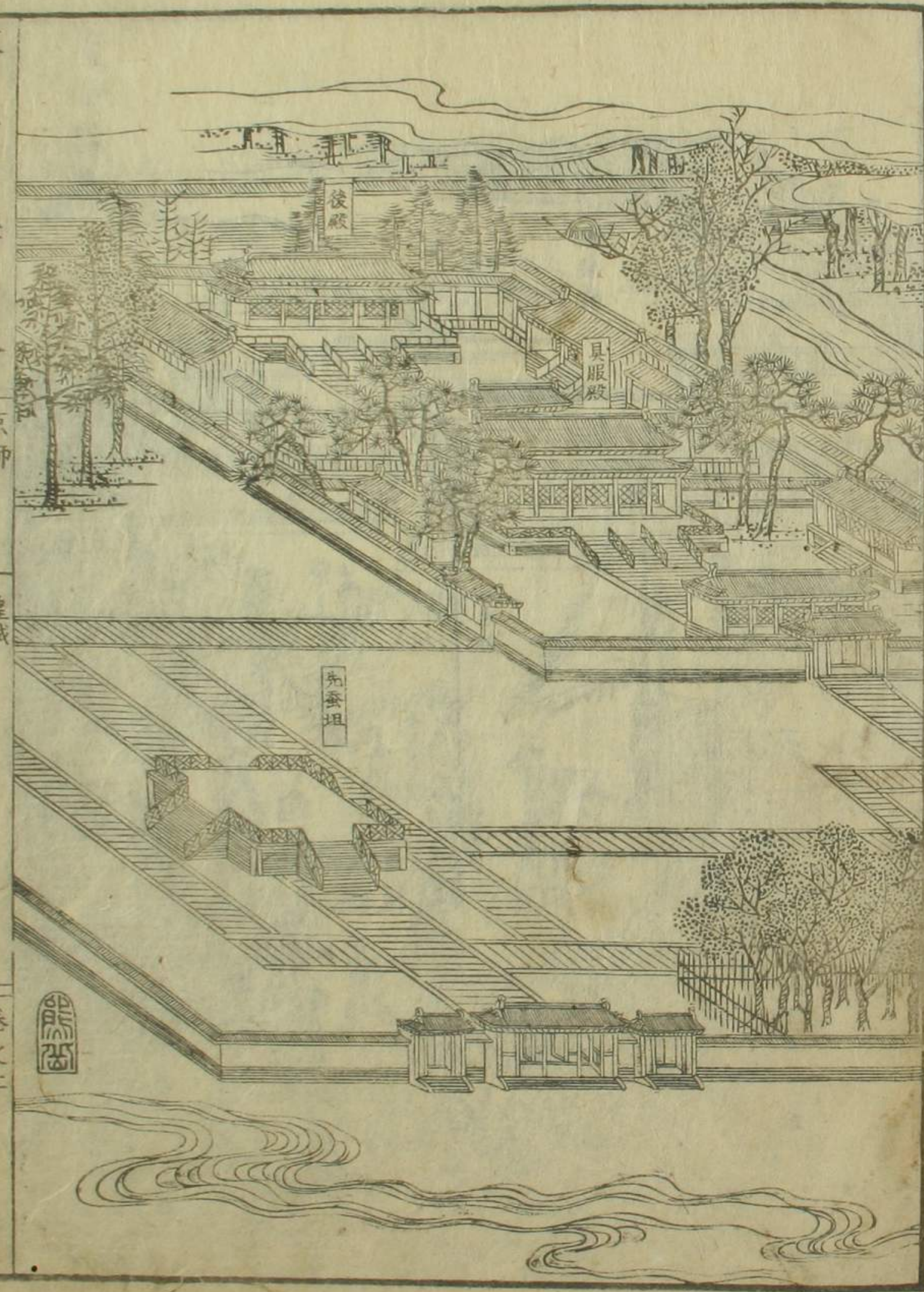
先登壇



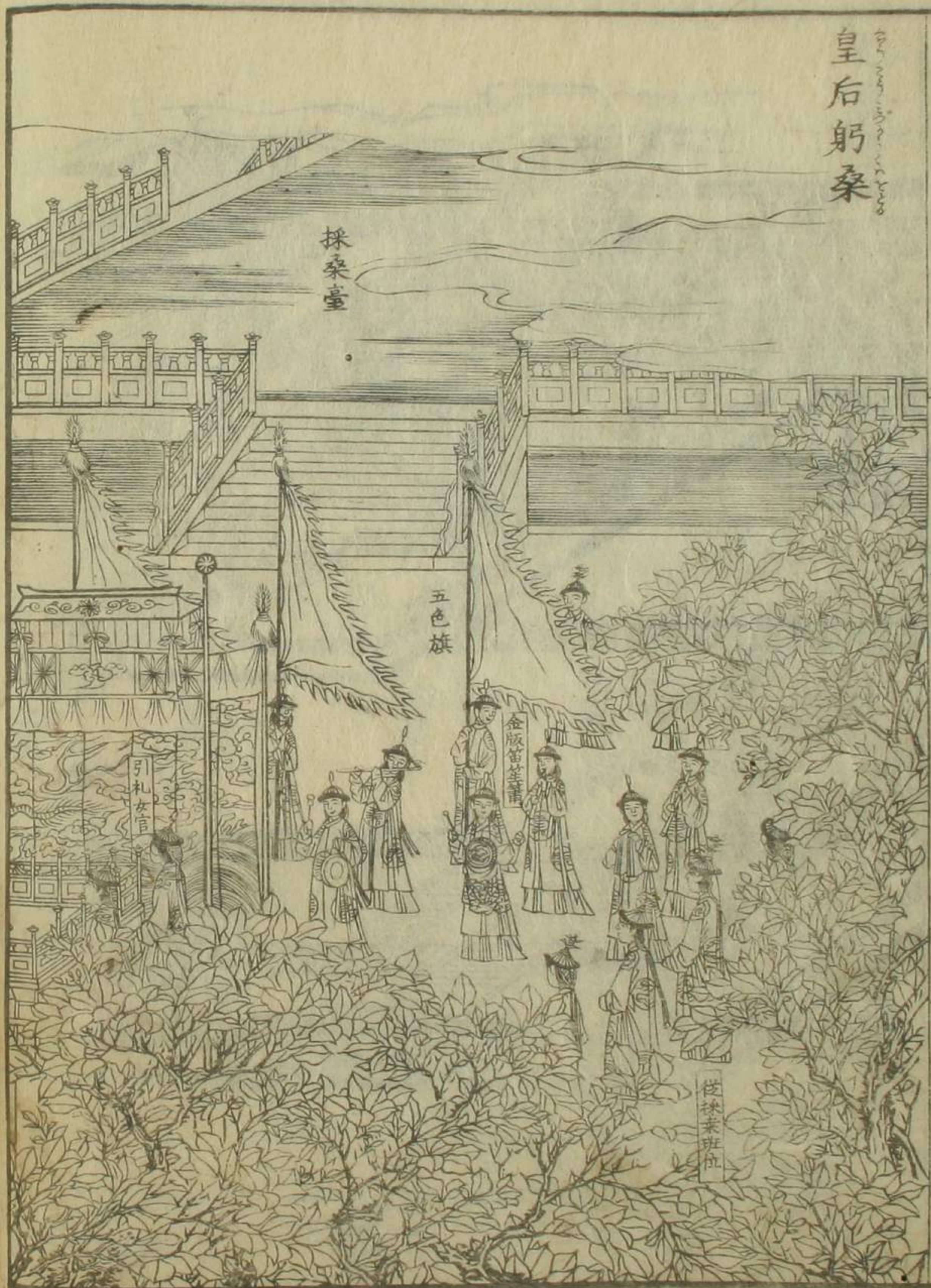
京師

皇城

卷之二



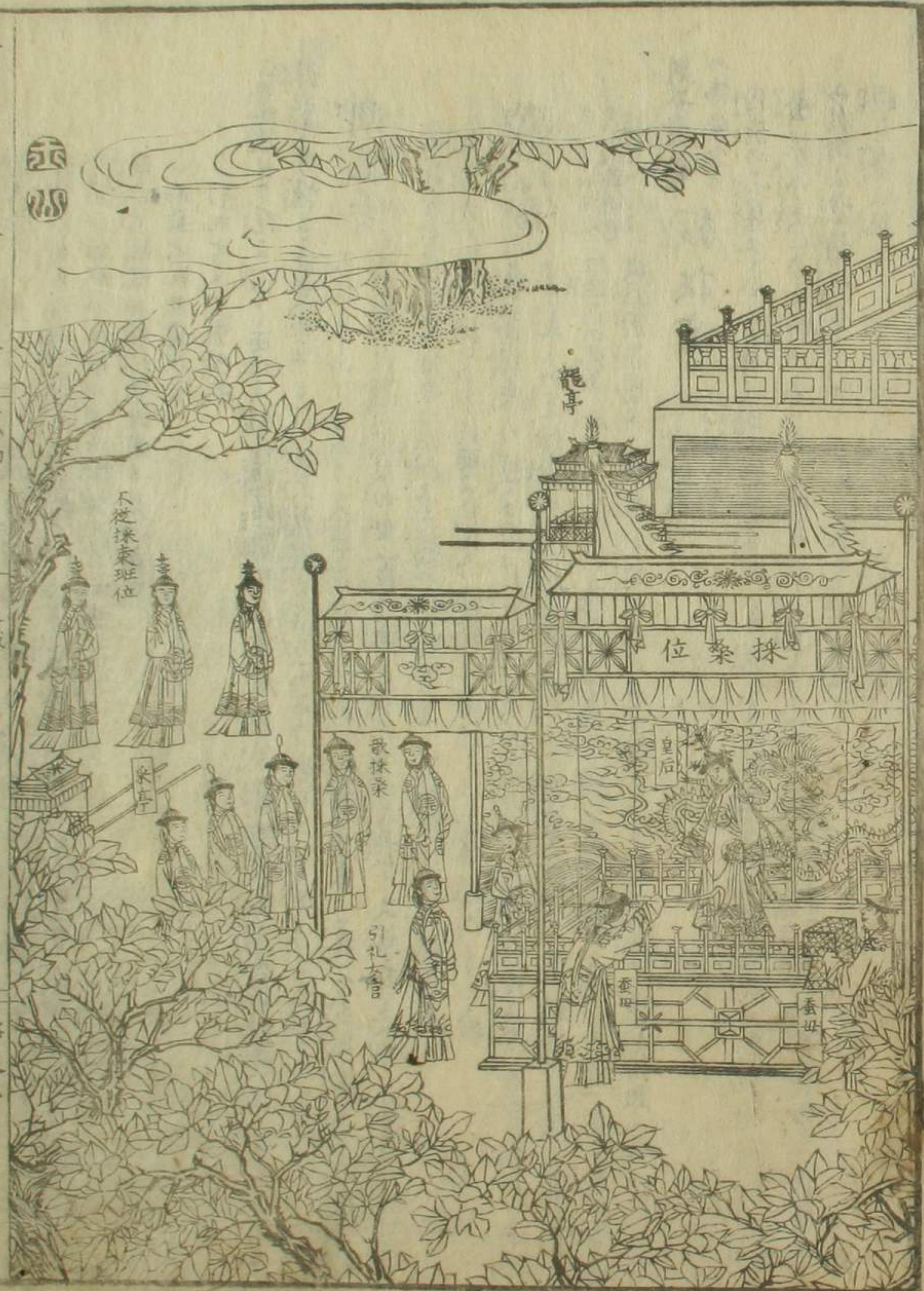
皇后躬桑

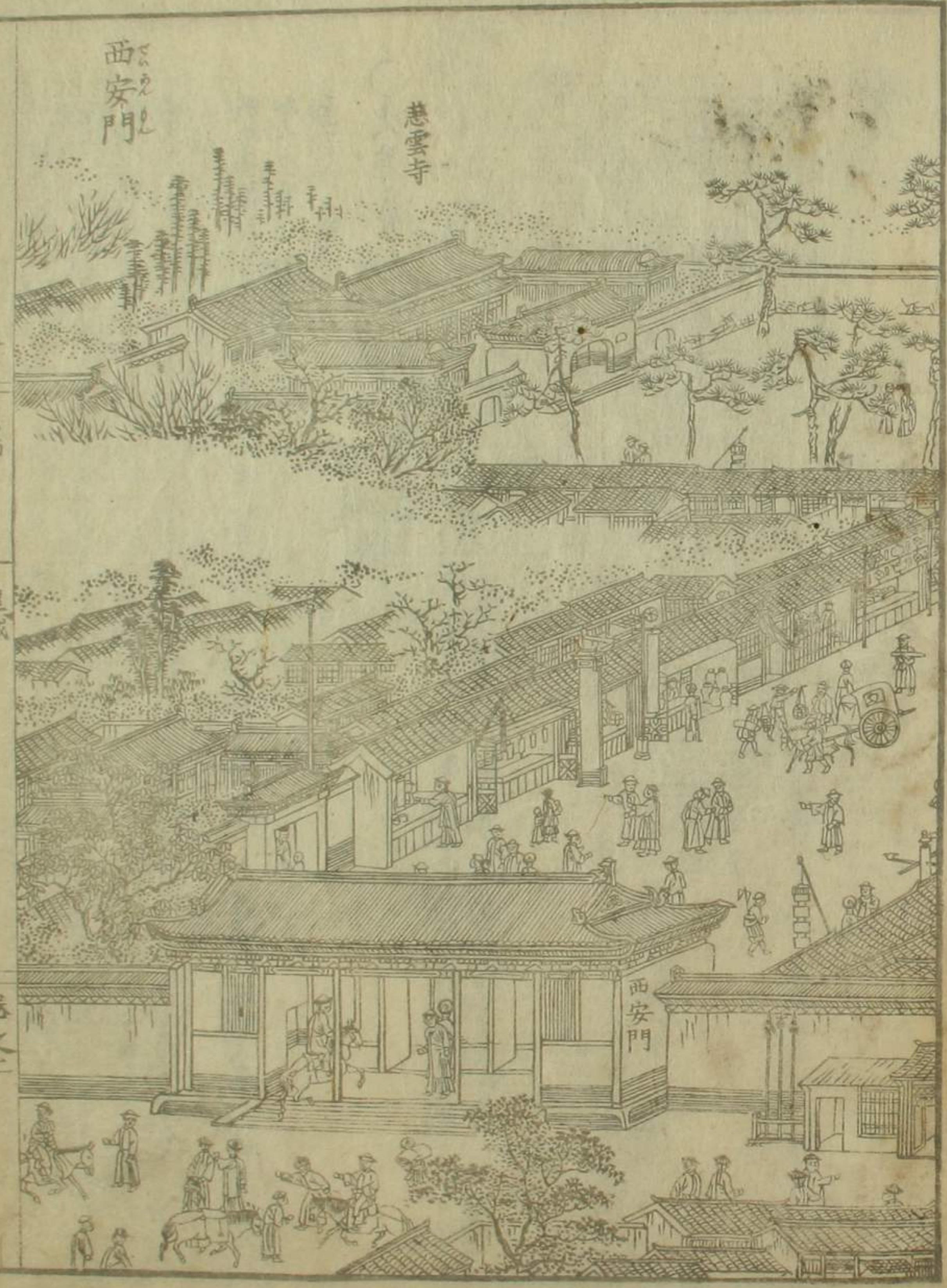


京師

皇城

卷之二

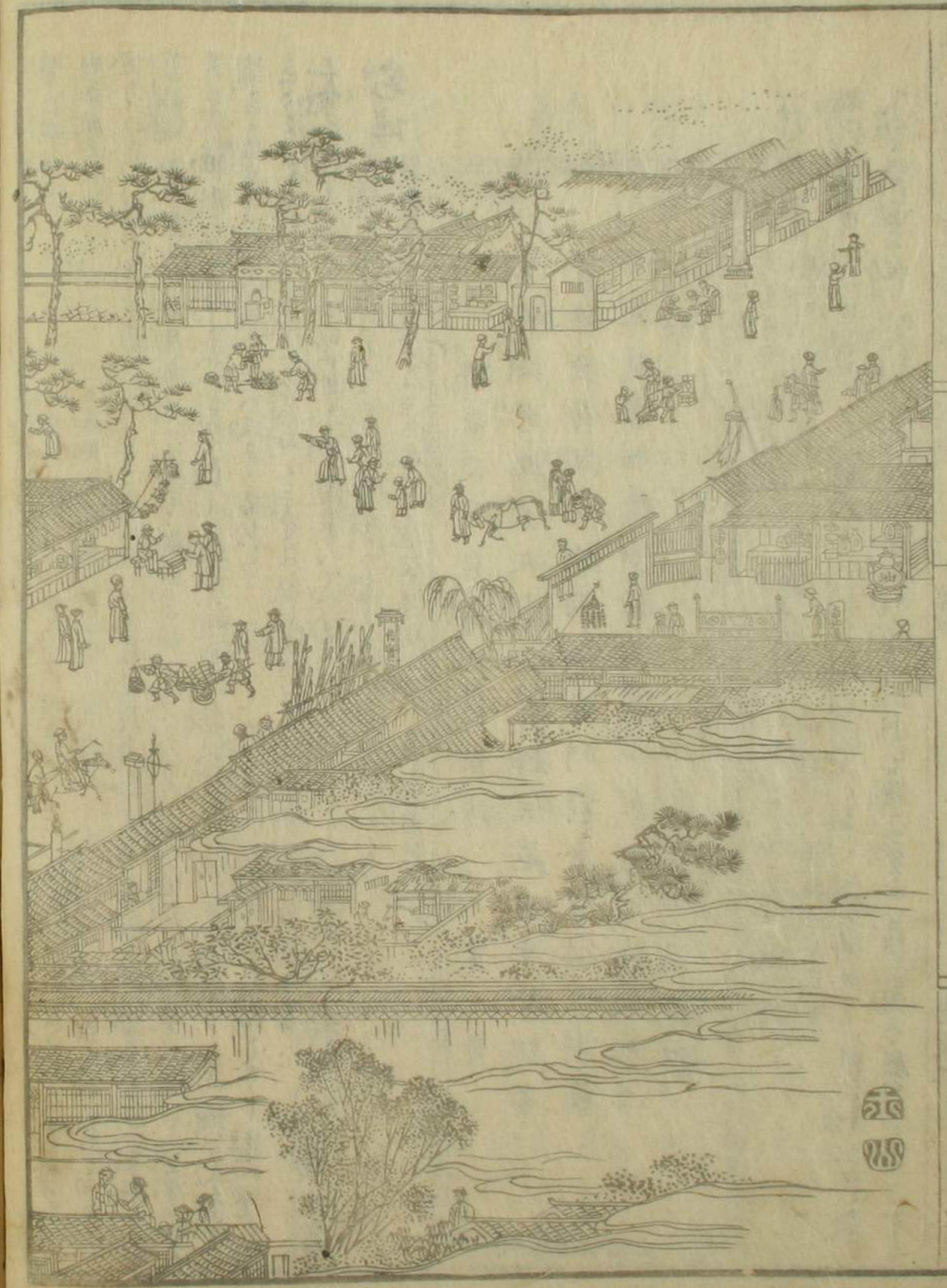




西安門

慧雲寺

西安門



六

五

洞壑を臨み、設け、其中、山中の水と灌り曲流して池を造り、池に遊魚を蓄り、奇石怪岩と垂へて、
なげ、小蓬萊と稱し、其南、隆景亭、翠林亭あり、此亭より、
西の二池、通風堂の洞と遊亭、其北、
傲人、其北、
帝、供奉し、迎霜老。

○火庫局

釋非殿の西より、
魁山、旋波、其の地あり。

西安門

景山、相、
景山、相、

○二聖廟

十庫あり、十庫、
魁山、相、

○慈雲

新

類、
類、

○元都勝境

陽、
陽、

燭

燭、
燭、



御書の碑あり

又、
又、

○弘仁寺

左、
左、

○虎城

弘、
弘、

○散軍場

嘉、
嘉、

地安門

俗、
俗、

右皇城の壇廟署宮寺祠及び名勝故跡

を載て漏るるは

新、
新、
眼、
眼、
操、

